

位置図 縮尺 1:2,500

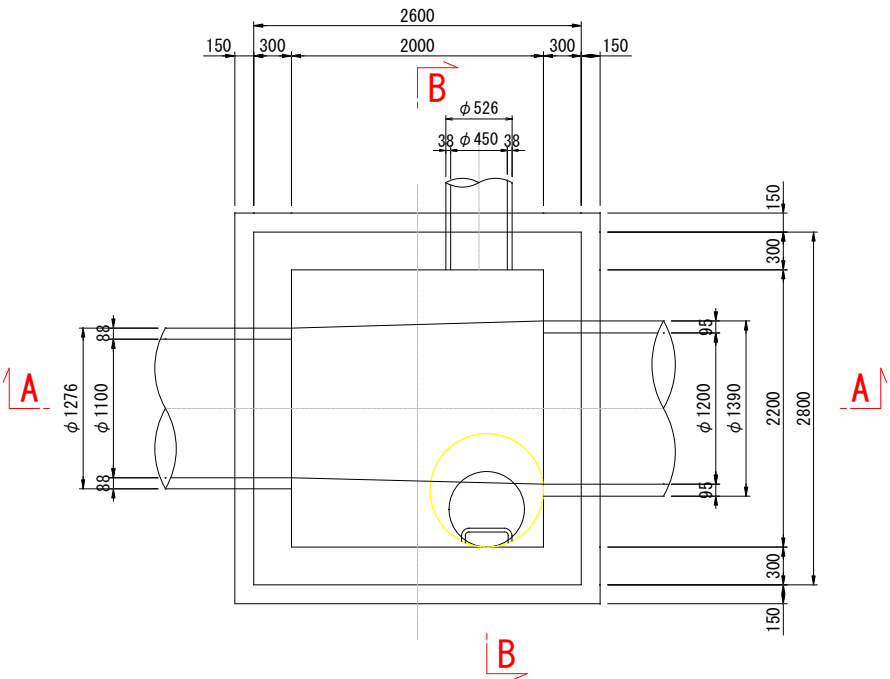


工名	下水道改良工事（地震対策R7-3）
工事所	甲府市丸の内一丁目地内
図名	J117135002特殊マンホール位置図
図面枚数	1 / 27
縮尺	S=1 : 2,500
甲府市上下水道局	

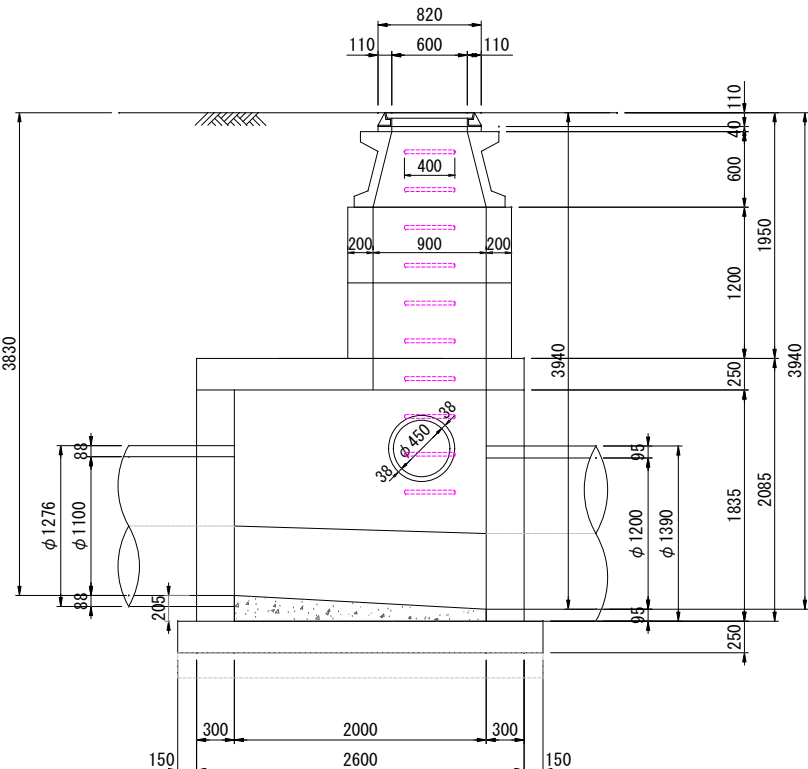
J117135002 特殊マンホール既設構造図及び完成構造図 S=1:30

既
設
構
造
図

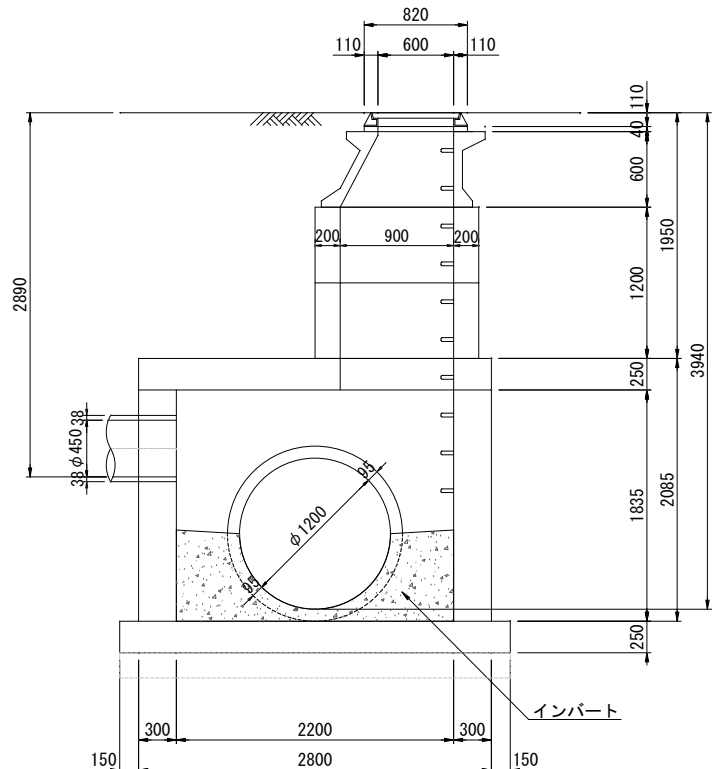
平面図



A-A 断面図

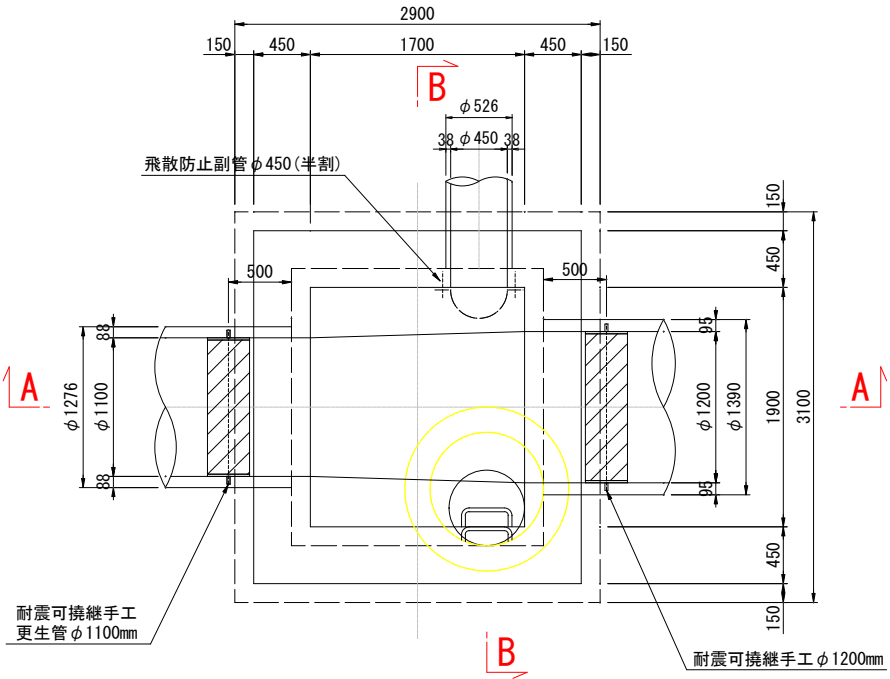


B-B 断面図

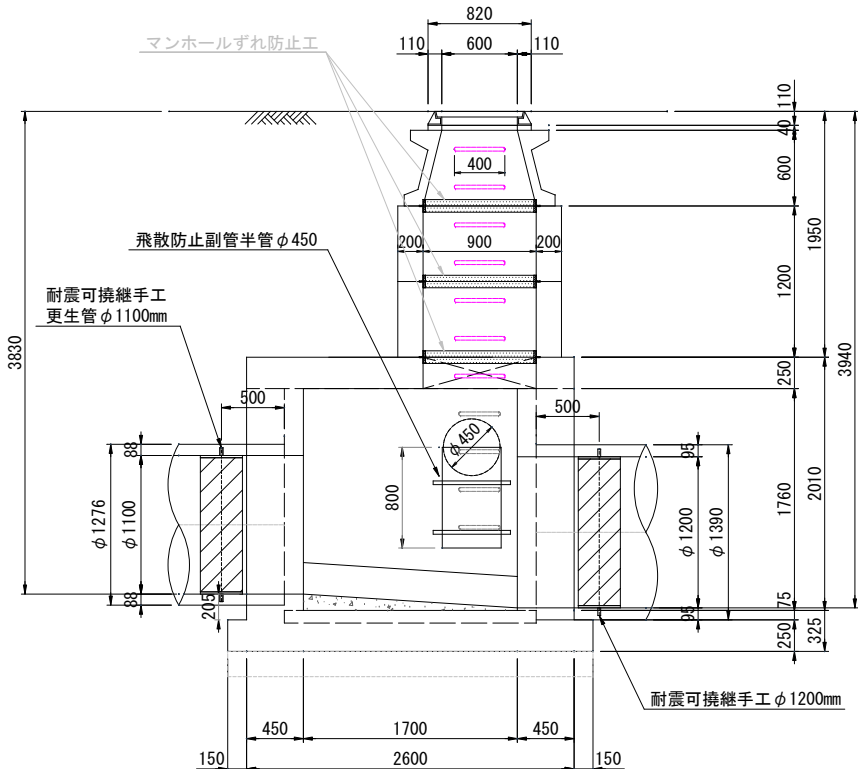


完
成
構
造
図

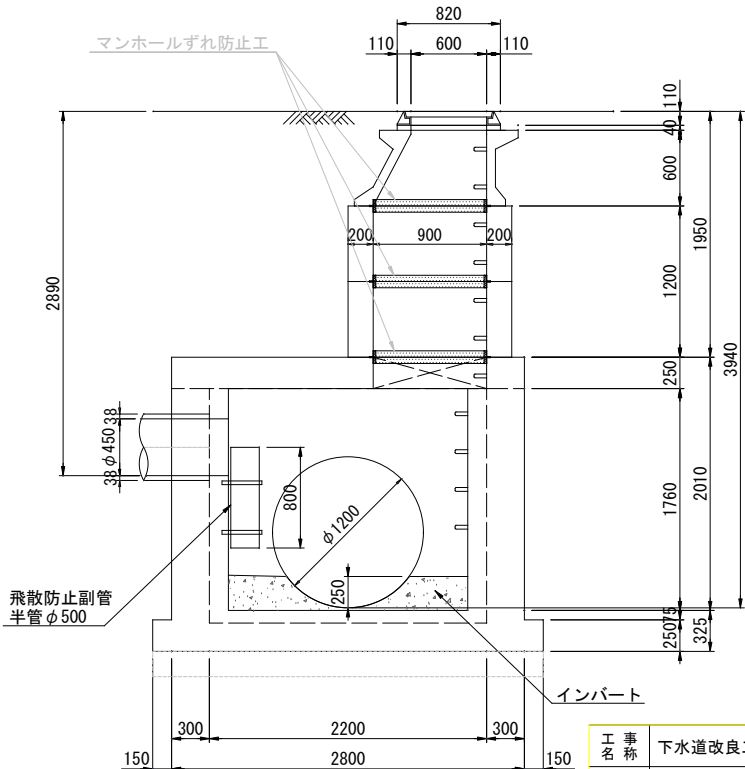
平面図



A-A 断面図



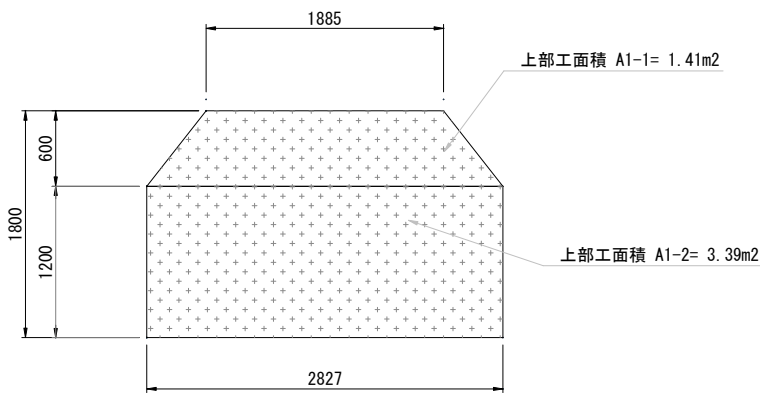
B-B 断面図



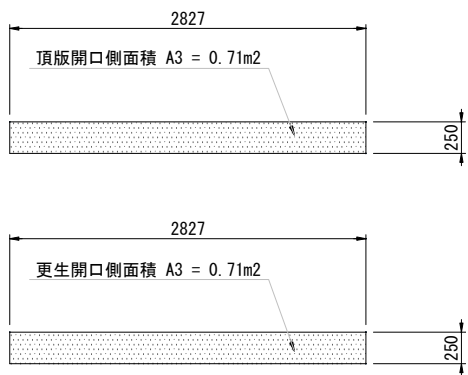
工 事 名	下水道改良工事（地震対策R7-3）		
工 事 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 面 名	J117135002 特殊マンホール既設構造図及び完成構造図		
図 面 枚 数	2 / 27	縮 尺	S=1 : 30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J117135002 特殊マンホールはつり・断面修復工図 S=1:30

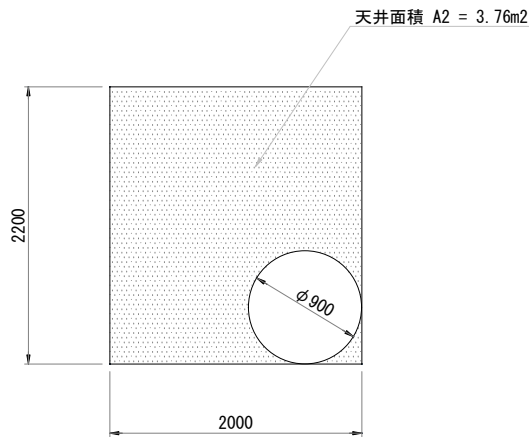
人孔躯体内壁展開図



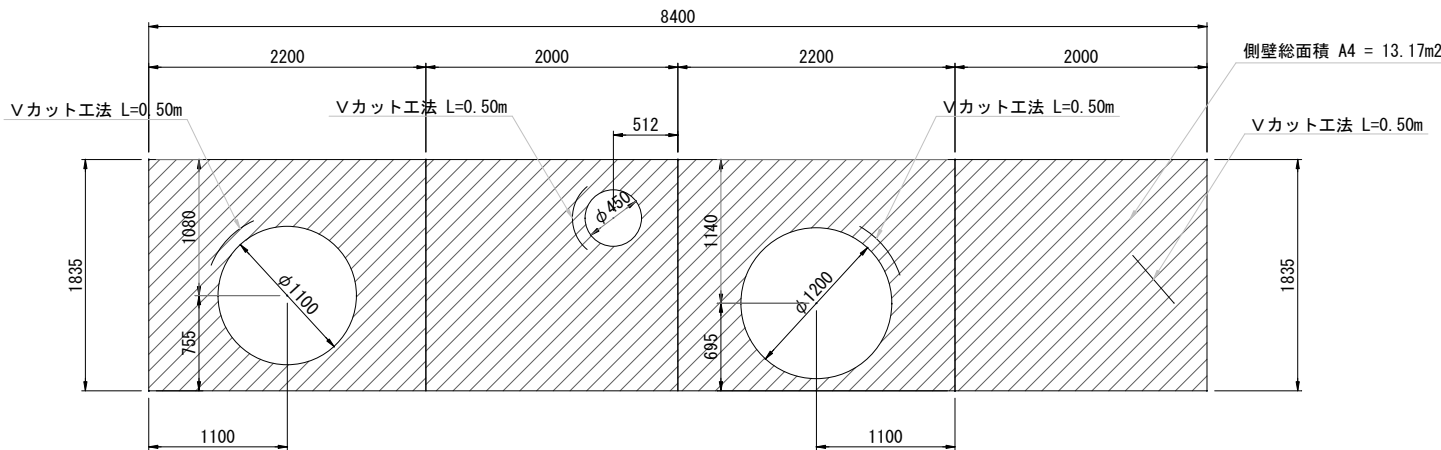
頂版開口側面展開図



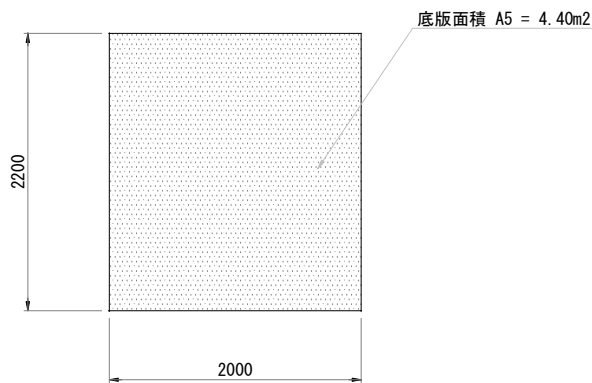
天井展開図



側壁内面展開図



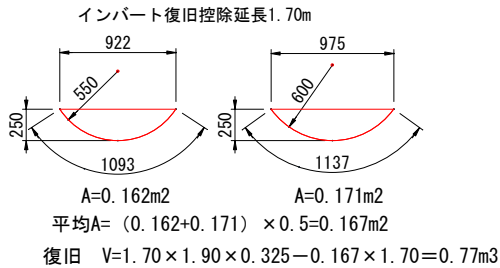
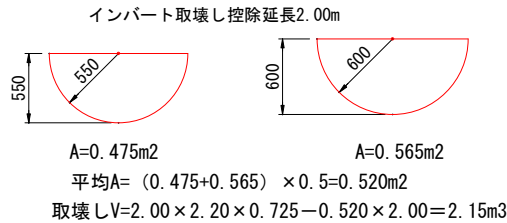
底版展開図



はつり・洗浄工・断面修復等 数量表

項 目	面積 (m2)	洗浄工 (m2)	はつり厚 (mm)	はつり面積 (m2)	人力取壊し工 (m3)	断面修復工 (m2)	備 考
上 部 工	A1-1 A1-2	4.80	4.80	-	-	-	
開口側面	A3	0.71	0.71	-	-	-	
天 井	A2	3.76	3.76	10	3.76	-	
躯体側壁	A4	13.17	13.17	-	-	-	(補強計上)
底 版	A5	4.40	4.40	25	4.40	-	(補強計上)
インバート工	-	-	-	-	2.15	-	復旧0.77m3
計	-	26.84	-	8.16	2.15	3.76	

注) 1. はつり工は、人力又は超高压水による切削工とする。
2. 頂版の腐食した鉄筋は、裏側までハツリ出して防錆材の塗布を行う。
3. 躯体のはつり後に目荒らしを行う。



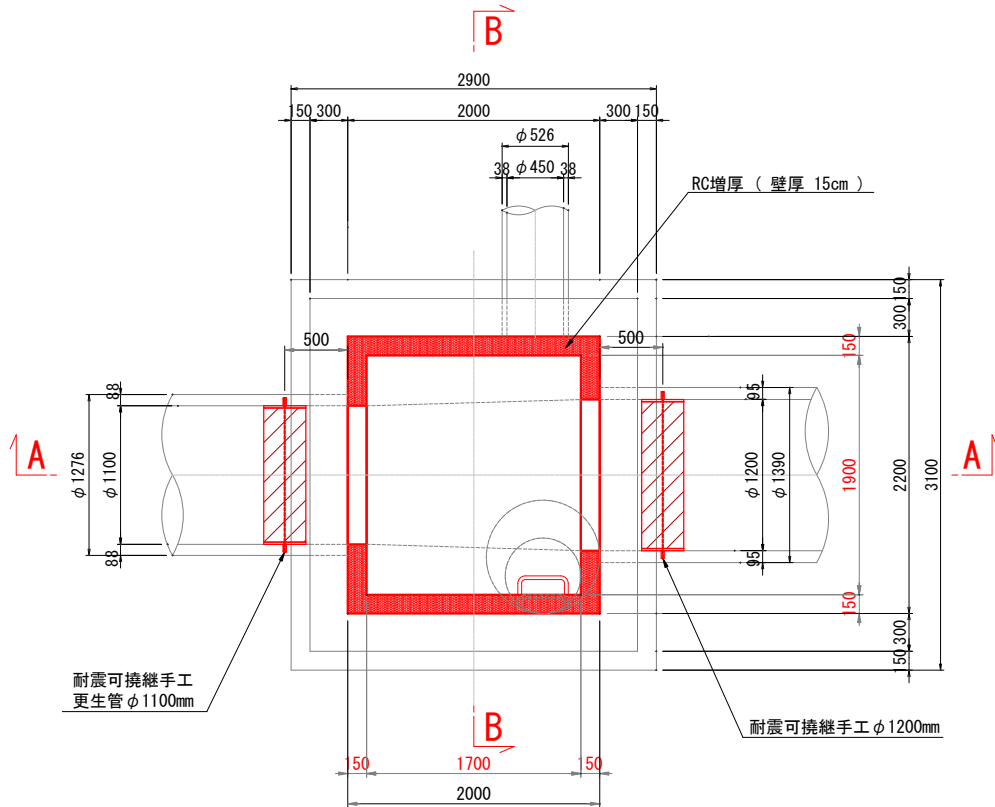
追加数量

項 目	仕 様	単 位	数 量	備 考
足掛金物撤去	W-400	本	4	
足掛金物設置	W-400	本	4	
浸入水止水処理	Vカット工法	m	2.0	浸入水B(0.5m×4ヶ所)
転落防止梯子(後付け)	φ600用	個	1	

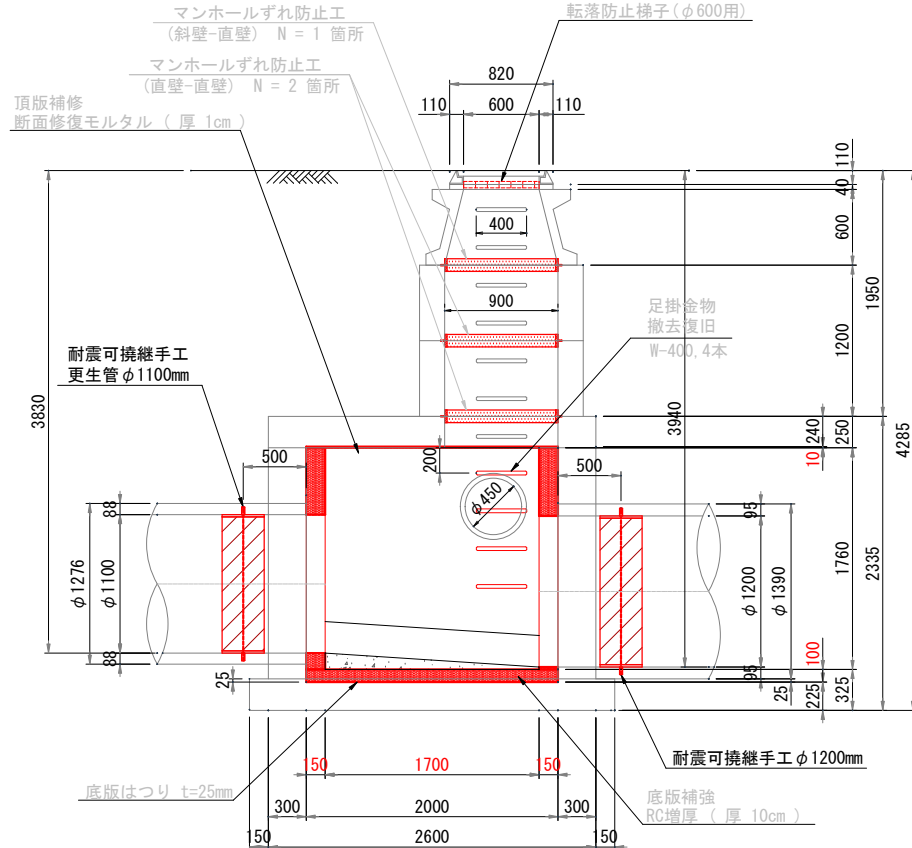
工 事 名	下水道改良工事(地震対策R7-3)		
工 事 箇 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 面 名 称	J117135002 特殊マンホールはつり・断面修復工図		
図 面 枚 数	3 / 27	縮 尺	S=1 : 30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J117135002 特殊マンホール補強構造図 S=1:30

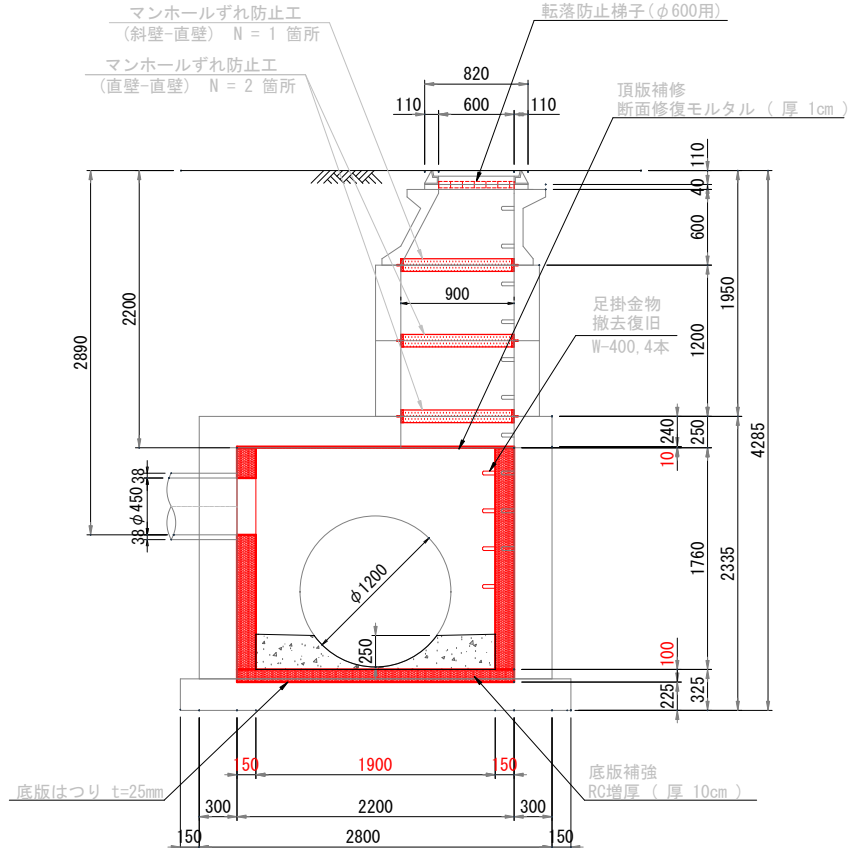
平面图



A-A 断面図

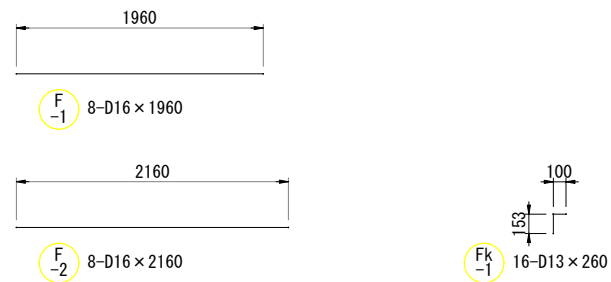
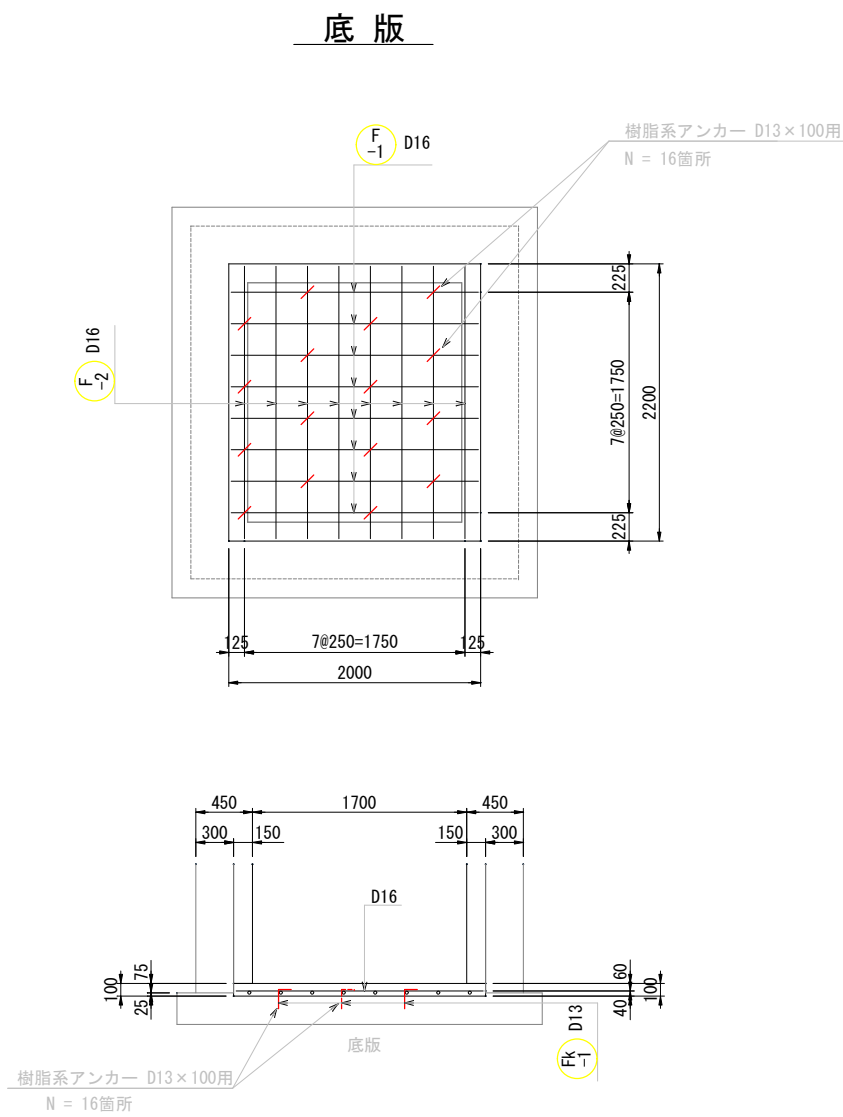


B-B 断面图



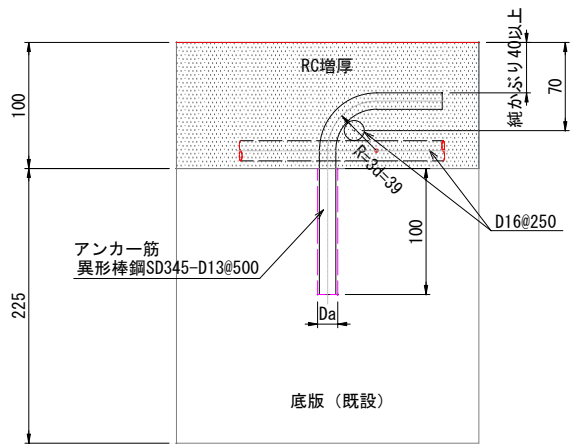
工 名	事 称	下水道改良工事（地震対策R7-3）		
工 圖	事 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 名	面 称	J117135002 特殊マンホール補強構造図		
図 枚	面 数	4 / 27	縮尺	S=1：30
甲 府 市 上 下 水 道 局				

J117135002 特殊マンホール配筋図（１） S=1:30



底版 鉄筋数量表							
記号	鉄筋径	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り 重量(kg)	重量 (kg)	摘要
F-1	D16	1960	8	1.56	3.06	24.5	
F-2	D16	2160	8	1.56	3.37	27.0	
Fk-1	D13	260	16	0.995	0.26	4.2	
	SD345	D16				51.5 kg	
	SD345	D13				4.2 kg	

あと施工アンカー標準図

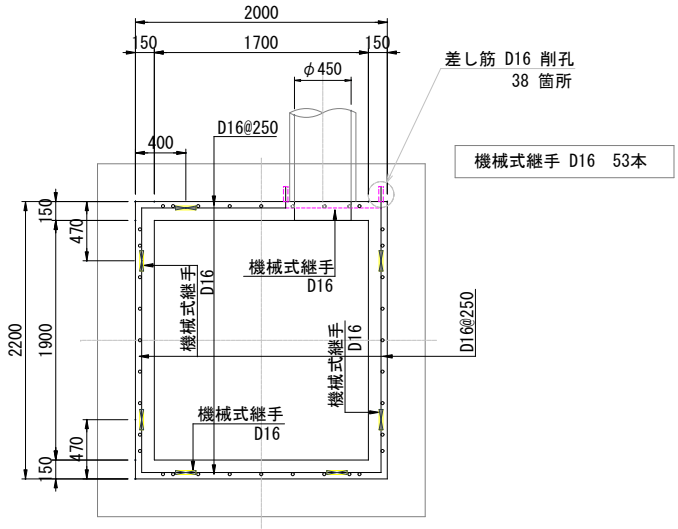


- 特記
- あと施工アンカーは、接着系アンカーとする。
 - 接着剤は、樹脂カプセル型の有機系のものとし基本接着強度10N/mm2とする。
 - ハツリ又は洗浄後の躯体には、目荒しを施す事とする。
 - アンカーの埋込穴の直径は、各メーカーのアンカー規格に合った適正なドリルビット径とし、穴の周辺コンクリートに損傷を与えない物でなければならない。
 - アンカー孔内の切粉やゴミを、占有ブラシ・プロアーを使用して念入りに清掃すること。
 - 穴あけに失敗した場合は、2.5d以上離して再度穴あけを行う。失敗アンカー孔はモルタルにて補修すること。

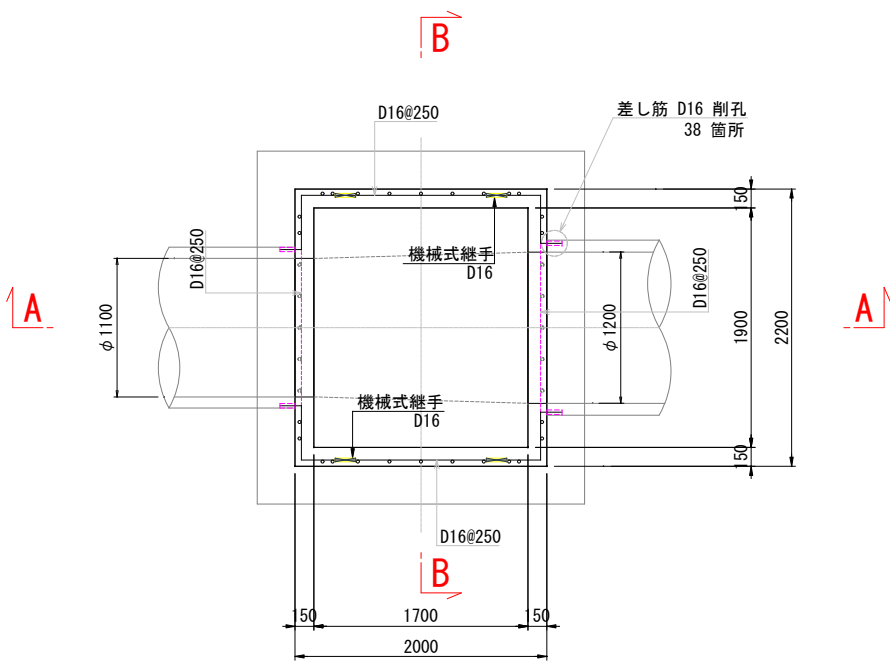
工 事 名	下水道改良工事（地震対策R7-3）		
工 事 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 面 名	J117135002 特殊マンホール配筋図（１）		
図 面 枚 数	5 / 27	縮 尺	S=1 : 30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J117135002 特殊マンホール配筋図（2） S=1:30

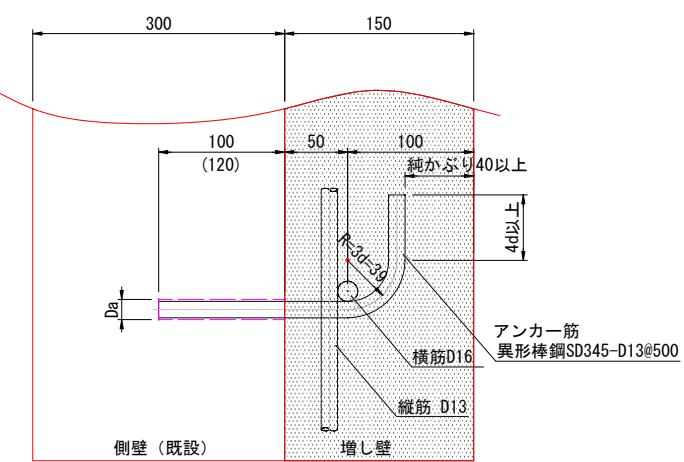
側壁標準配筋
(C-C)



D-D 断面図

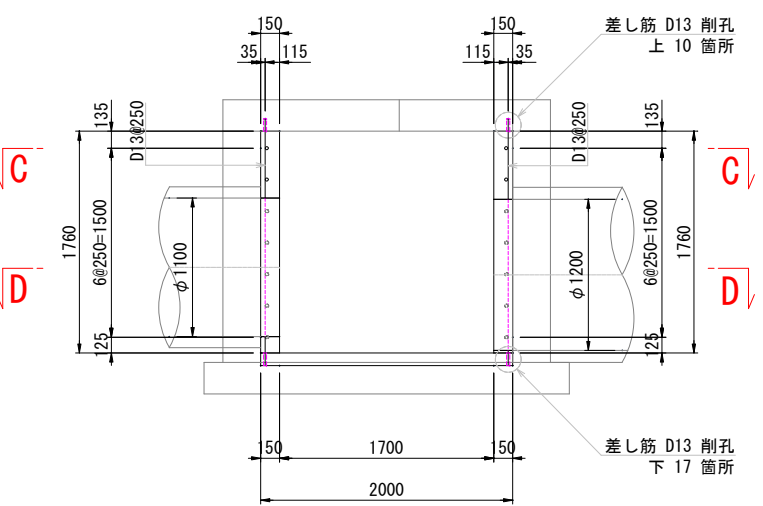


あと施工アンカー標準図

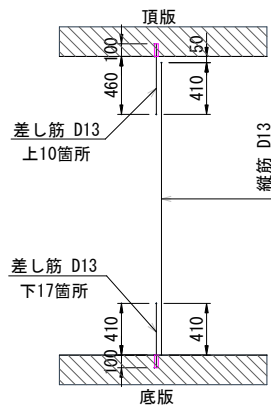
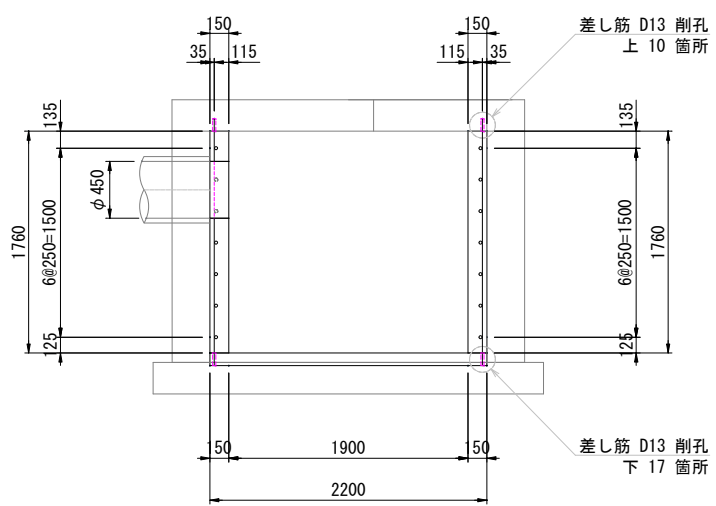


特記：頂版及び底版に施工するアンカーを参照
() 内は D16mm 差し筋アンカーの埋め込み長である。

A-A 断面図



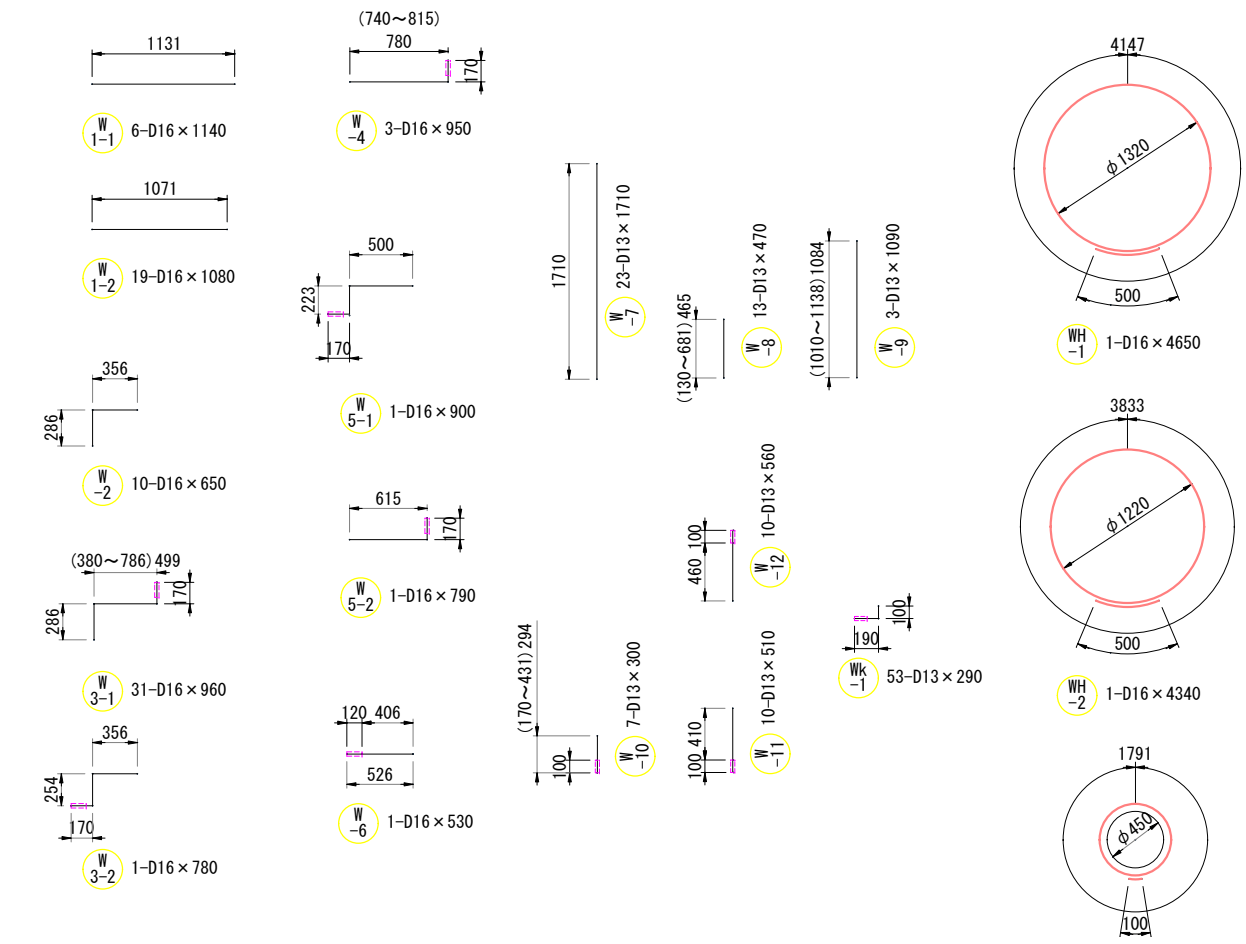
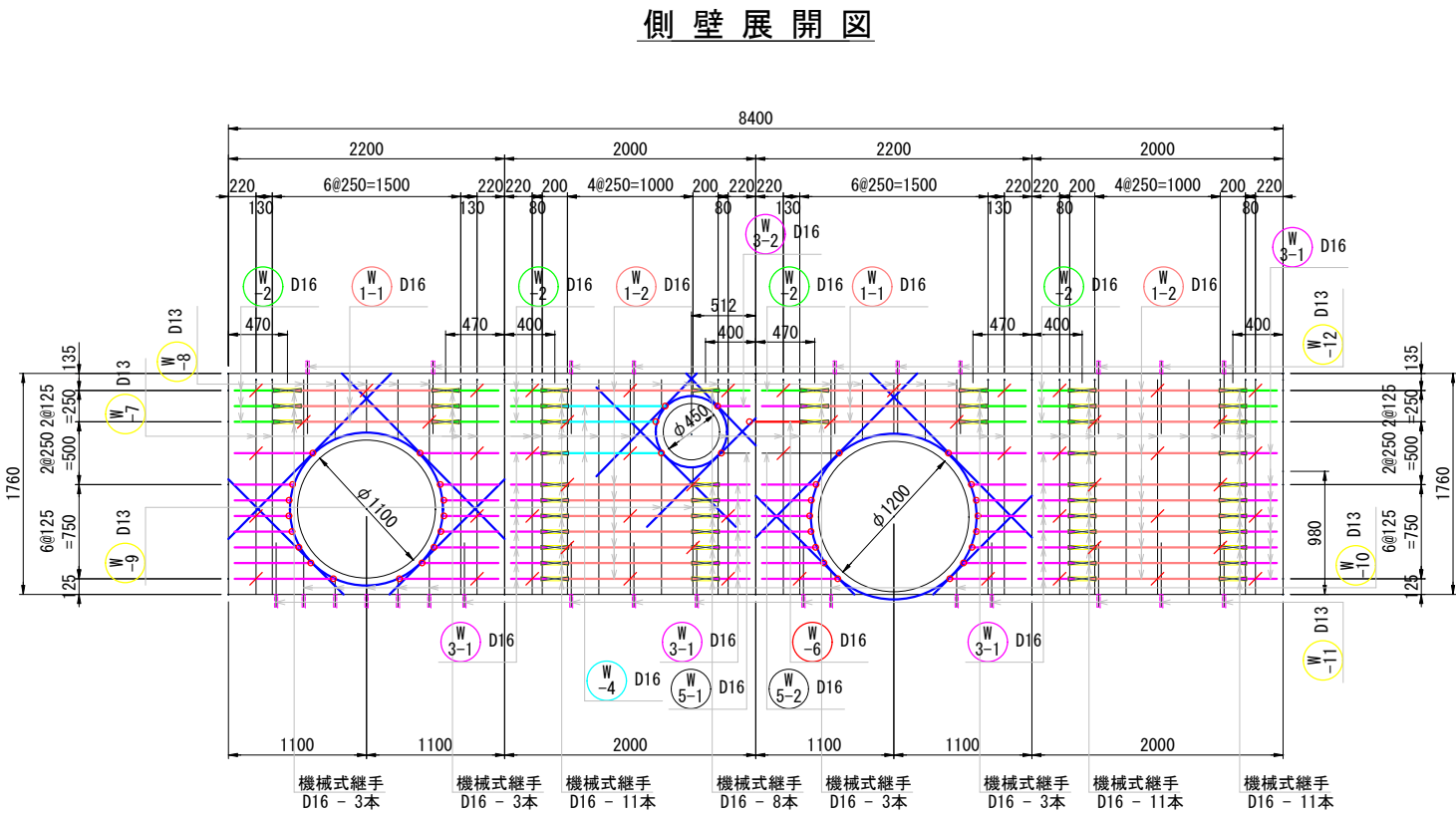
B-B 断面図



工 事 名	下水道改良工事（地震対策R7-3）		
工 事 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 面 名	J117135002 特殊マンホール配筋図（2）		
図 面 枚 数	6 / 27	縮 尺	S=1:30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J117135002 特殊マンホール配筋図（3） S=1:30

側壁展開図



側壁 鉄筋質量表

記号	鉄筋径	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り 重量(kg)	重量 (kg)	D13 (kg)	D16 (kg)	摘要
W 1-1	D16	1140	6	1.56	1.78	10.7		10.7	
W 1-2	D16	1080	19	1.56	1.68	31.9		31.9	
W -2	D16	650	10	1.56	1.01	10.1		10.1	
W 3-1	D16	960	31	1.56	1.50	46.5		46.5	
W 3-2	D16	780	1	1.56	1.22	1.2		1.2	
W -4	D16	950	3	1.56	1.48	4.4		4.4	
W -5-1	D16	900	1	1.56	1.40	1.4		1.4	
W -5-2	D16	790	1	1.56	1.23	1.2		1.2	
W -6	D16	650	1	1.56	0.83	0.8		0.8	
W -7	D13	1710	23	0.995	1.70	39.1	39.1		
W -8	D13	470	13	0.995	0.47	6.1	6.1		
W -9	D13	1090	3	0.995	1.08	3.2	3.2		
W -10	D13	300	7	0.995	0.30	2.1	2.1		
W -11	D13	510	10	0.995	0.51	5.1	5.1		
W -12	D13	560	10	0.995	0.56	5.6	5.6		
Wk-1	D13	290	53	0.995	0.29	15.4	15.4		
WH-1	D16	4650	1	1.56	7.25	7.3		7.3	
WH-2	D16	4340	1	1.56	6.77	6.8		6.8	
WH-3	D16	1900	1	1.56	2.96	3.0		3.0	
WH-4	D16	1310	12	1.56	2.04	24.5		24.5	
計						226.4	76.6	158.9	
SD345 D16						149.8 kg			
SD345 D13						76.6 kg			
機械式継手 D16						53 本			

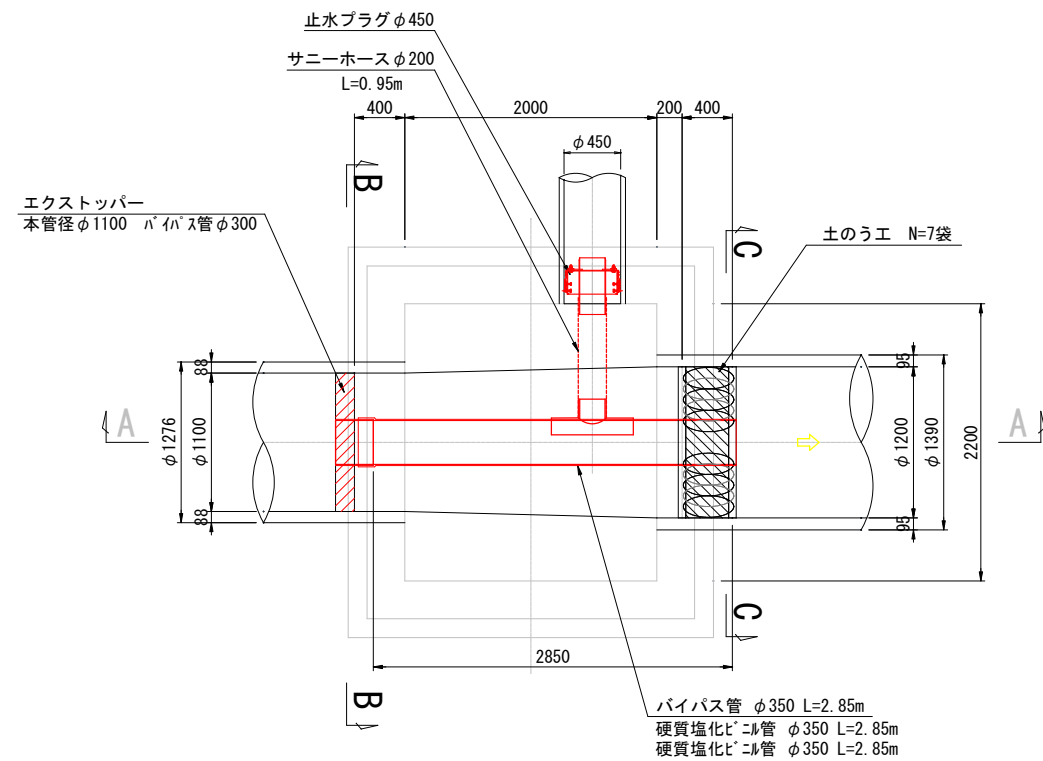
削孔数量

削 孔	数 量	備 考
D13用（上向）	10 箇所	W12の本数に同じ
D13用（横向）	53 箇所	Wk1の本数に同じ
D13用（下向）	17 箇所	W10+W11の本数に同じ
D16用（横向）	38 箇所	W3-1+W3-2+W4+W5-1+W5-2+W6の本数

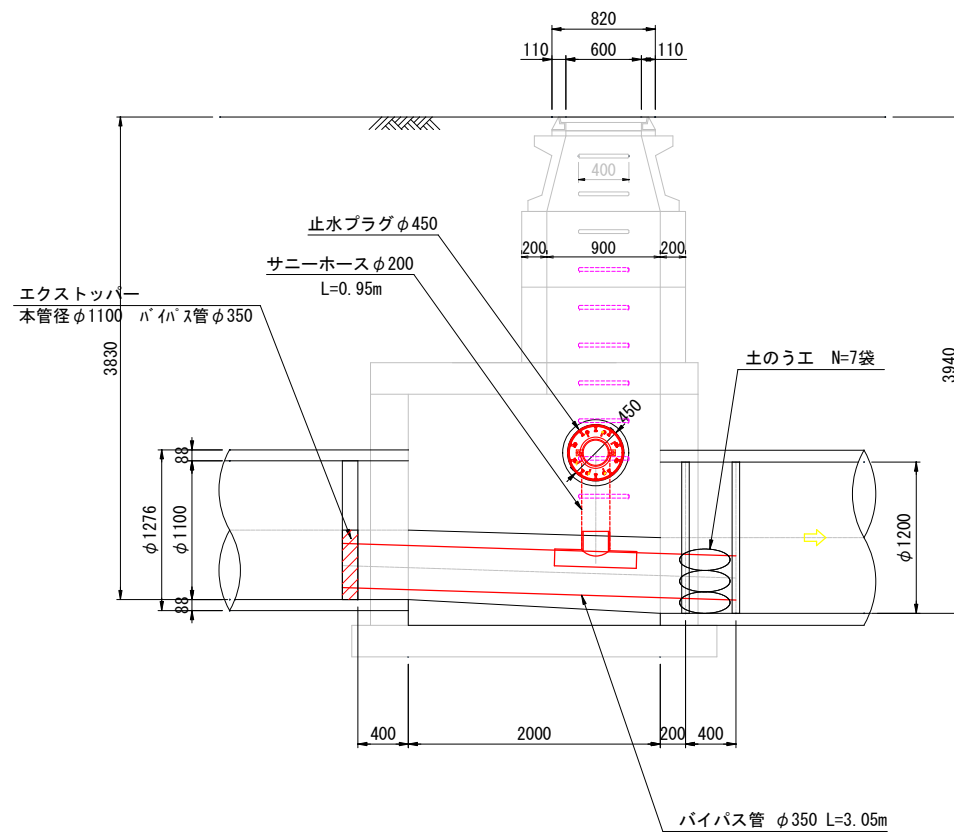
工 事 名	下水道改良工事（地震対策R7-3）		
工 事 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 面 名	J116135002 特殊マンホール配筋図（3）		
図 面 枚 数	7 / 27	縮 尺	S=1 : 30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

S=1 : 30

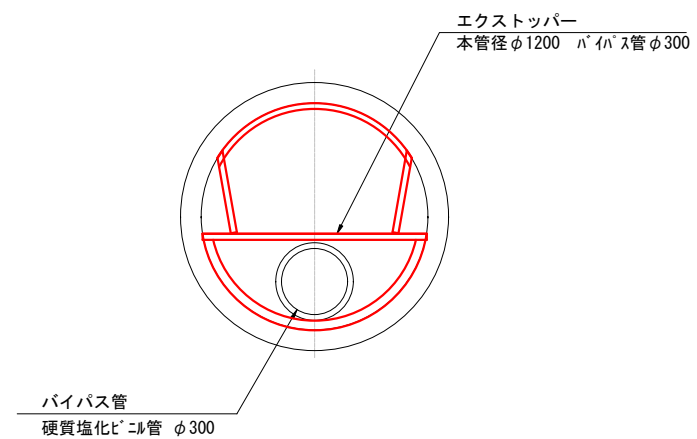
平面图



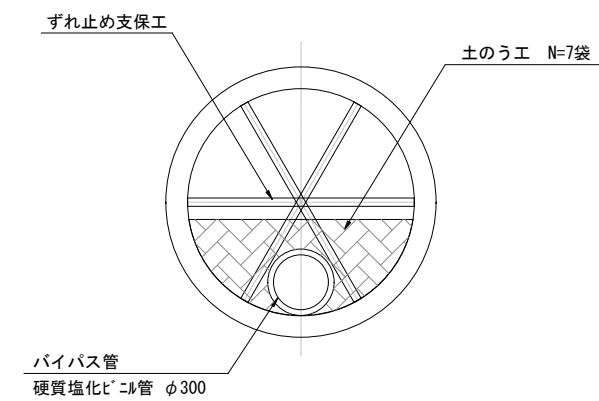
A-A 断面図



B-B 断面図

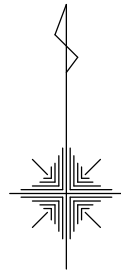


C-C 断面図



工 事 名 称	下水道改良工事（地震対策R7-3）		
工 事 所 箇 名 称	甲府市丸の内一丁目地内		
図 面 名 称	J117135002 特殊マンホール仮排水仮設図		
図 枚 面 数	8 / 27	縮尺	S=1:30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

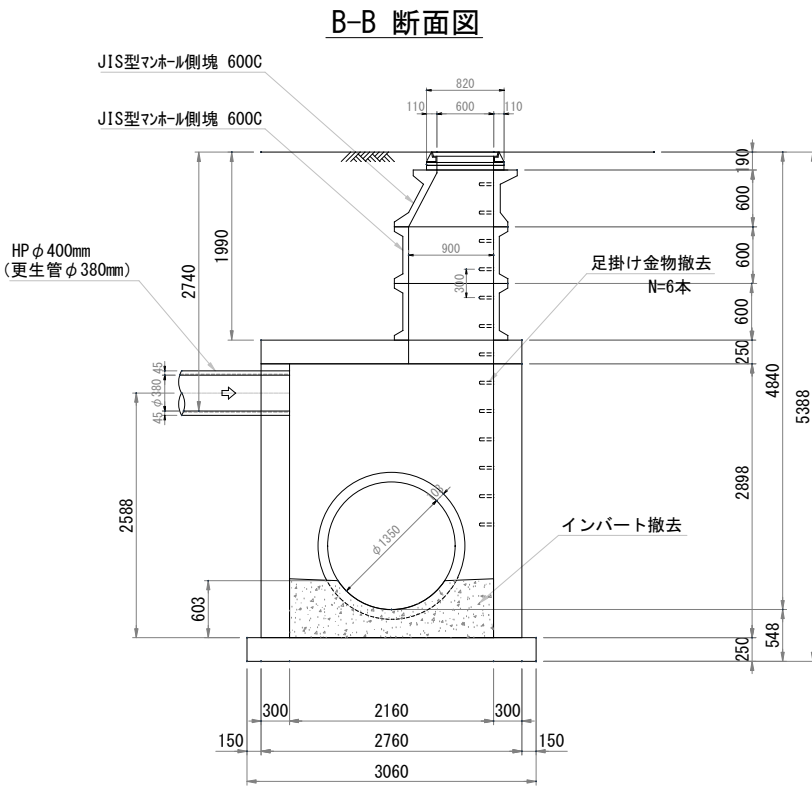
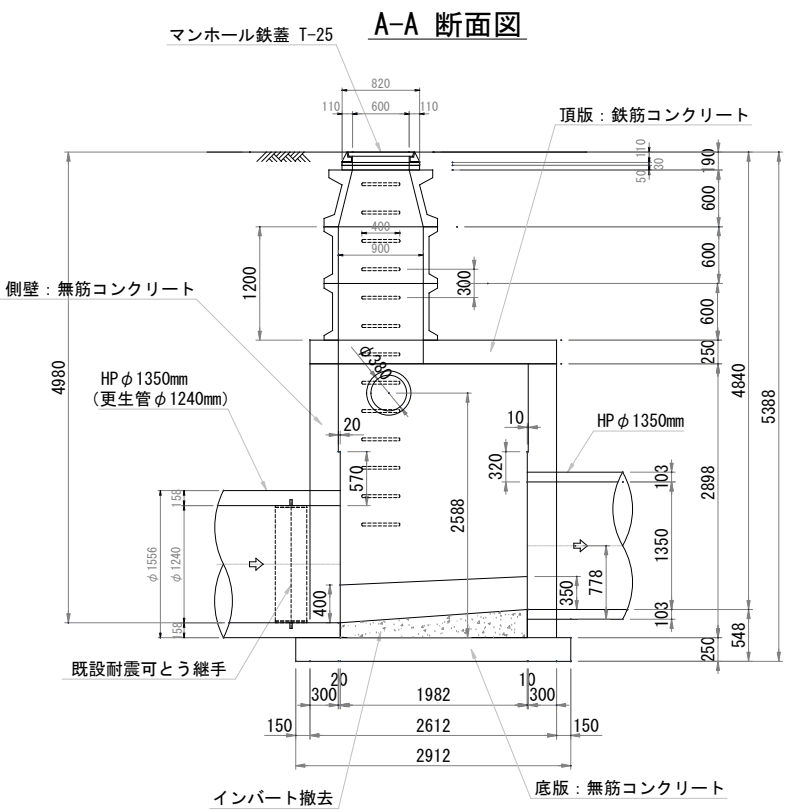
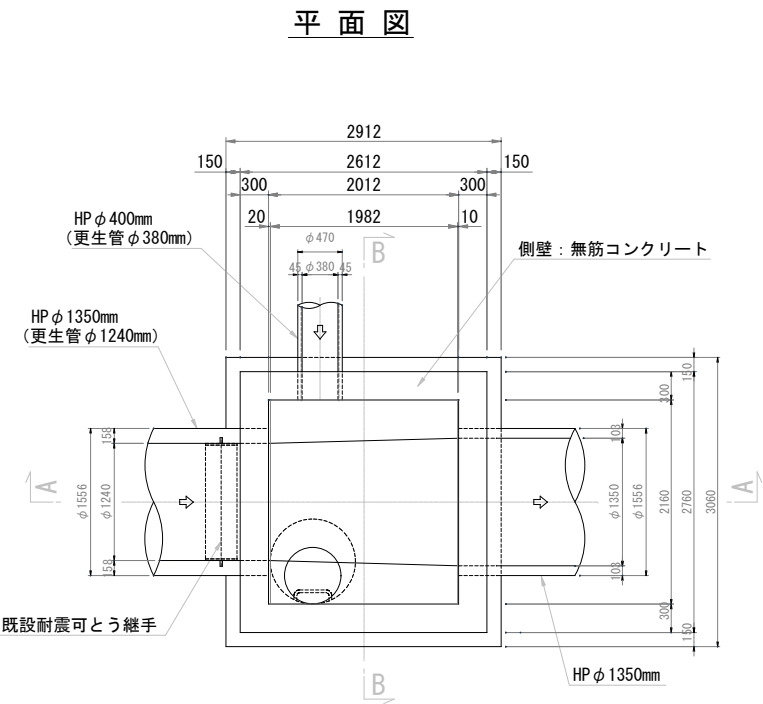
位置図 S=1:2,500



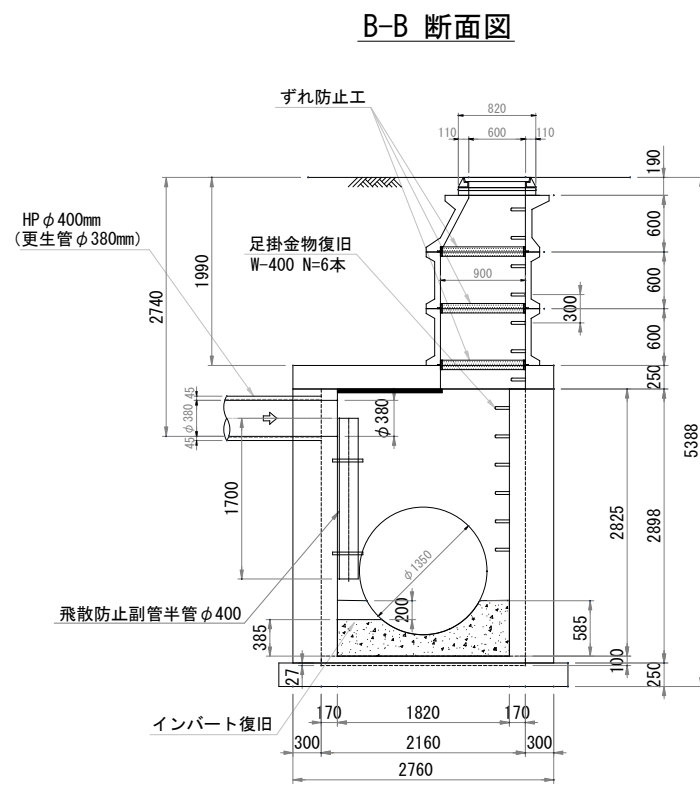
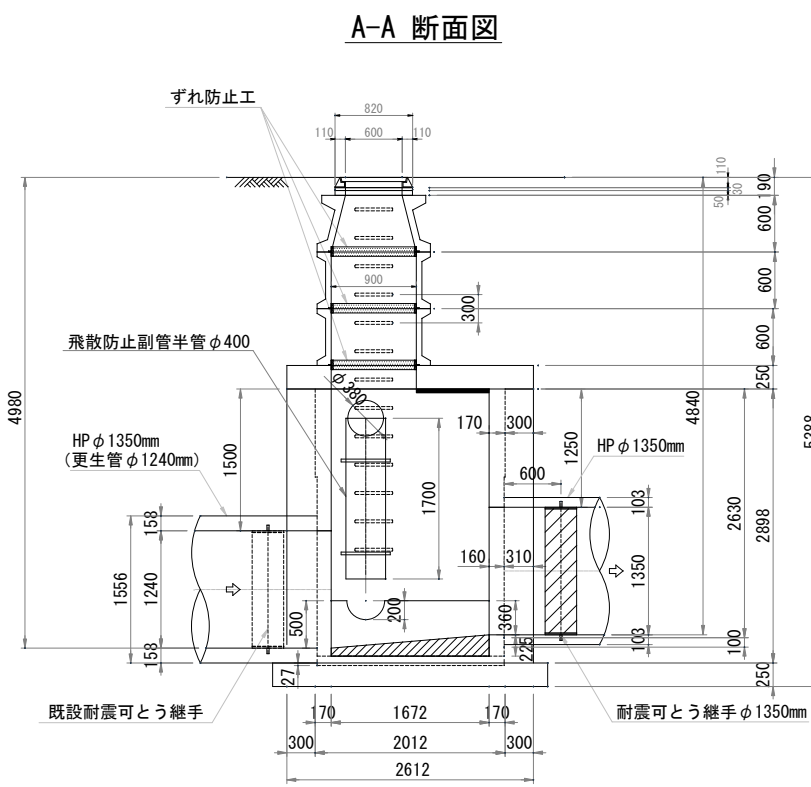
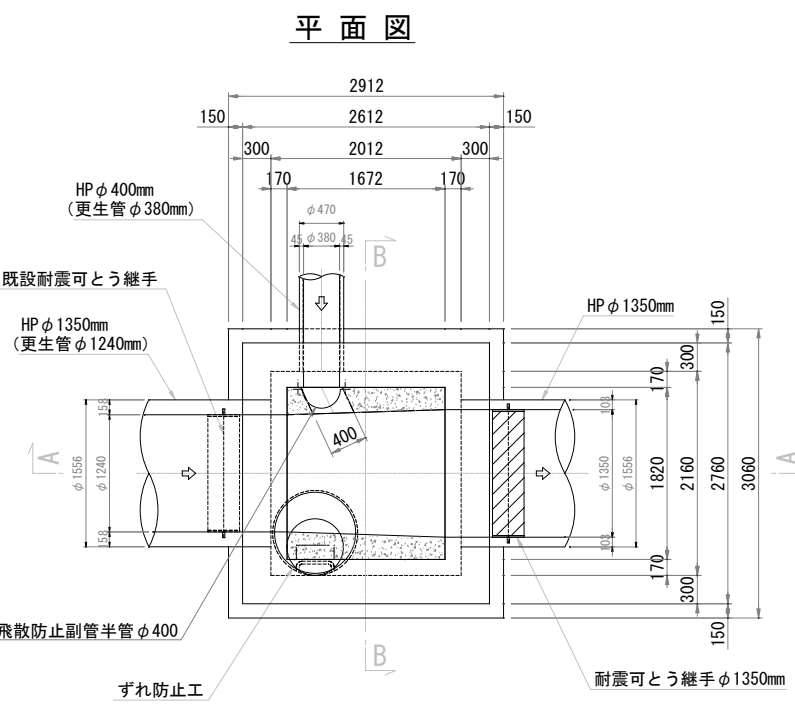
工 事 名	下水道改良工事（地震対策R7-3）		
工 事 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 面 名	③J117135001 特殊マンホール位置図		
図 面 枚 数	9 / 27	縮 尺	1 : 2500
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J117135001 特殊マンホール既設構造図及び完成構造図 S=1:40

既
設
構
造
図



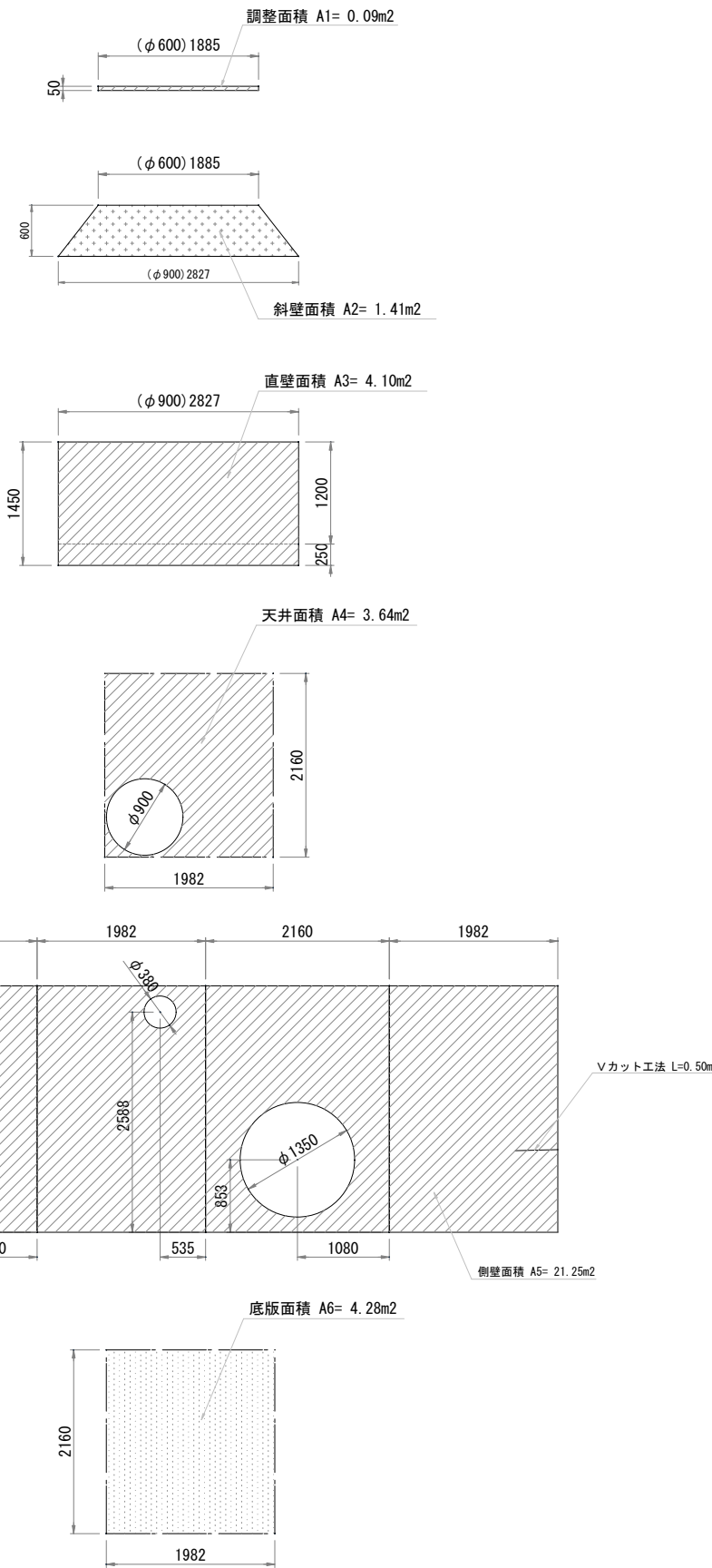
完
成
構
造
図



工 事 名	下水道改良工事（地震対策R7-3）		
工 事 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 面 名	J117135001 特殊マンホール既設構造図及び完成構造図		
図 面 枚 数	10 / 27	縮 尺	S=1 : 40
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J117135001 特殊マンホールはつり・断面修復工図 S=1:40

人孔内面展開図

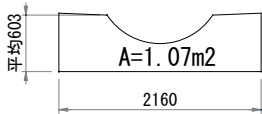


はつり・洗浄工・断面修復等 数量表

項 目	面積 (m ²)	洗浄工 (m ²)	はつり厚 (mm)	はつり面積 (m ²)	人力取壊し工 (m ³)	断面修復工 (m ²)	備考
調整高 A1	0.09	0.09	-	-	-	-	
斜 壁 A2	1.41	1.41	-	-	-	-	
直 壁 A3	4.10	4.10	-	-	-	-	
天 井 A4	3.64	3.64	10	3.64	-	3.36	
躯体側壁 A5	21.25	21.25	10	21.25	-	-	
底 版 A6	4.28	4.28	27	4.28	-	-	
インバート工	-	-	-	-	2.12	-	復旧1.12m ³
計	-	34.77	-	29.17	2.12	3.36	

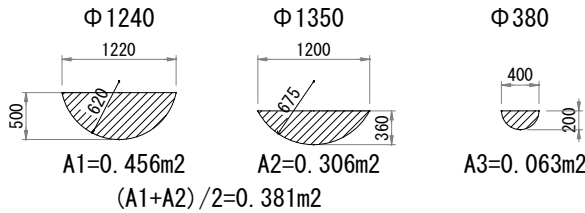
注) 1. はつり工は、人力による切削工とする。
2. 頂版に鉄筋が露出していた場合は、裏側までハツリ出して防錆材の塗布を行う。

インバート取り壊し平均断面



取壊し V=1.07×1.982=2.12m³

インバート控除面積



復旧 V=1.82×1.672×0.585-0.381×1.672-0.063×0.30=1.124m³

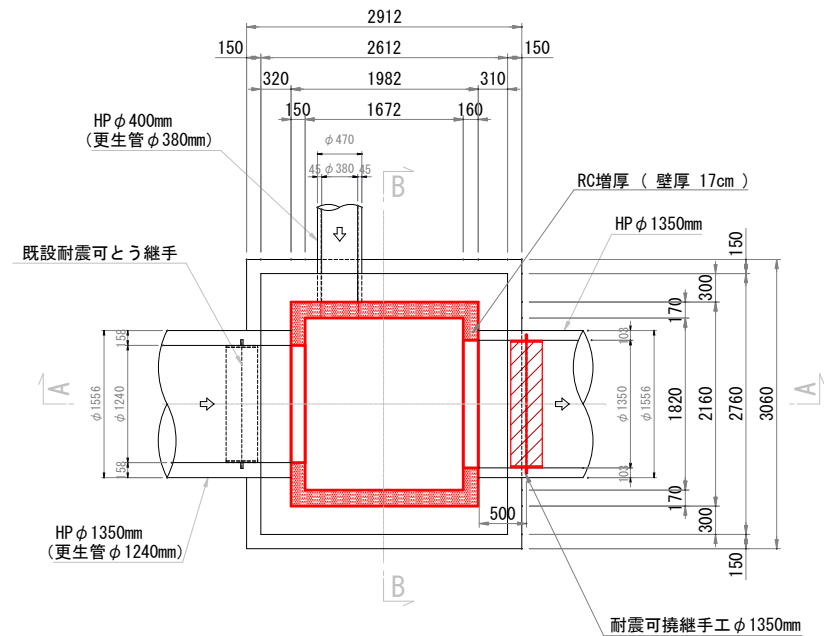
改築更新材料及び補修工

項 目	仕 様	単 位	数 量	備 考
足掛金物撤去	W-400	本	6	
足掛金物設置	W-400	本	6	
浸入水止水処理	Vカット工法	m	1.0	浸入水(0.5m×1ヶ所)
飛散防止副管φ400(半割)	φ400	箇所	1	L=1.65m

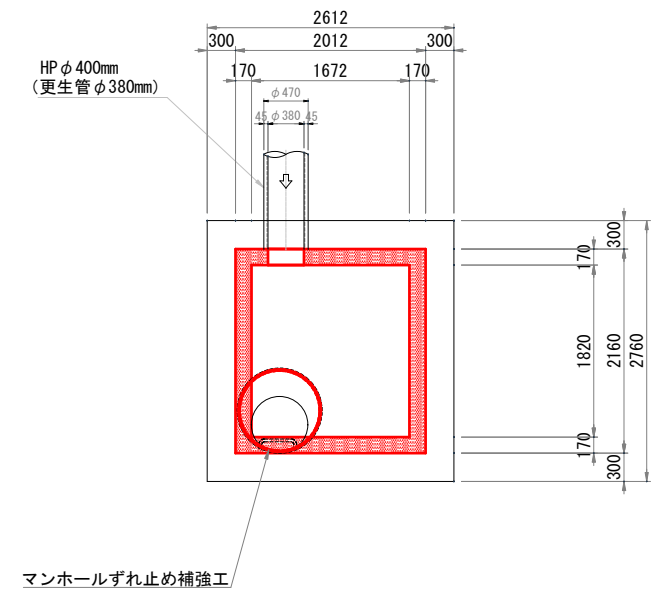
工 事 名	下水道改良工事（地震対策R7-3）		
工 事 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 面 名	J117135001 特殊マンホールはつり・断面修復工図		
図 面 枚	11 / 27	縮 尺	1:40
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J117135001 特殊マンホール耐震補強構造図 S=1:40

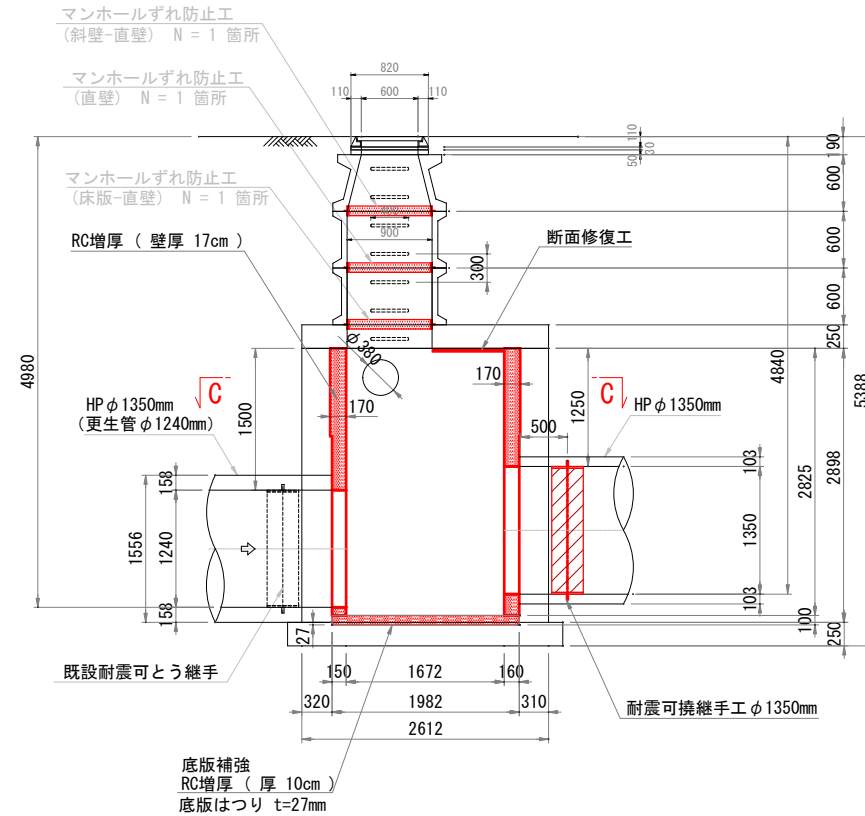
平面図



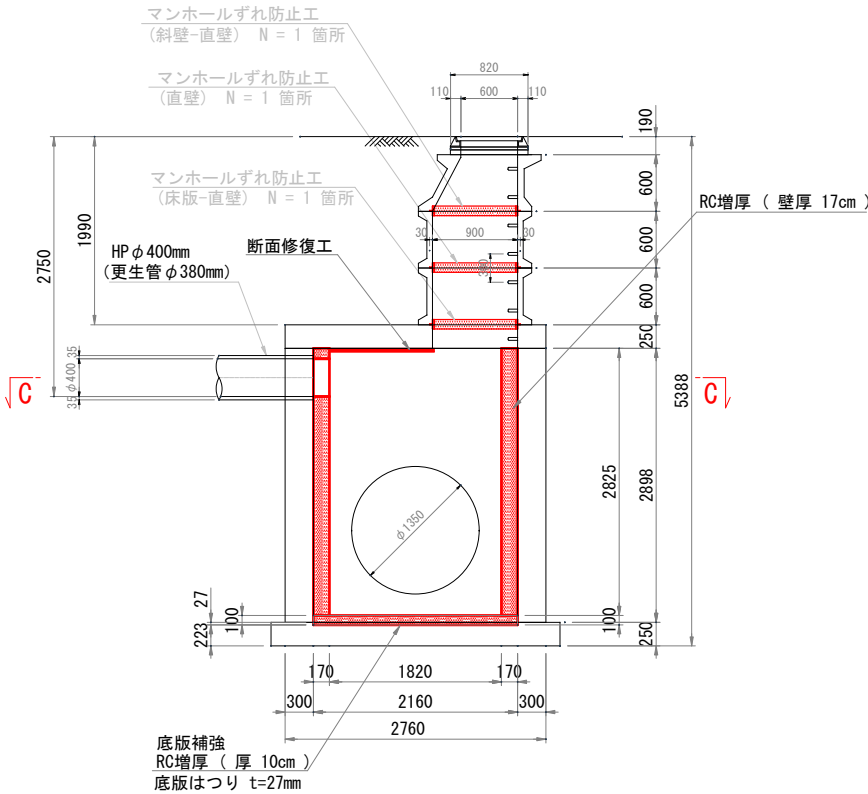
C-C 断面図



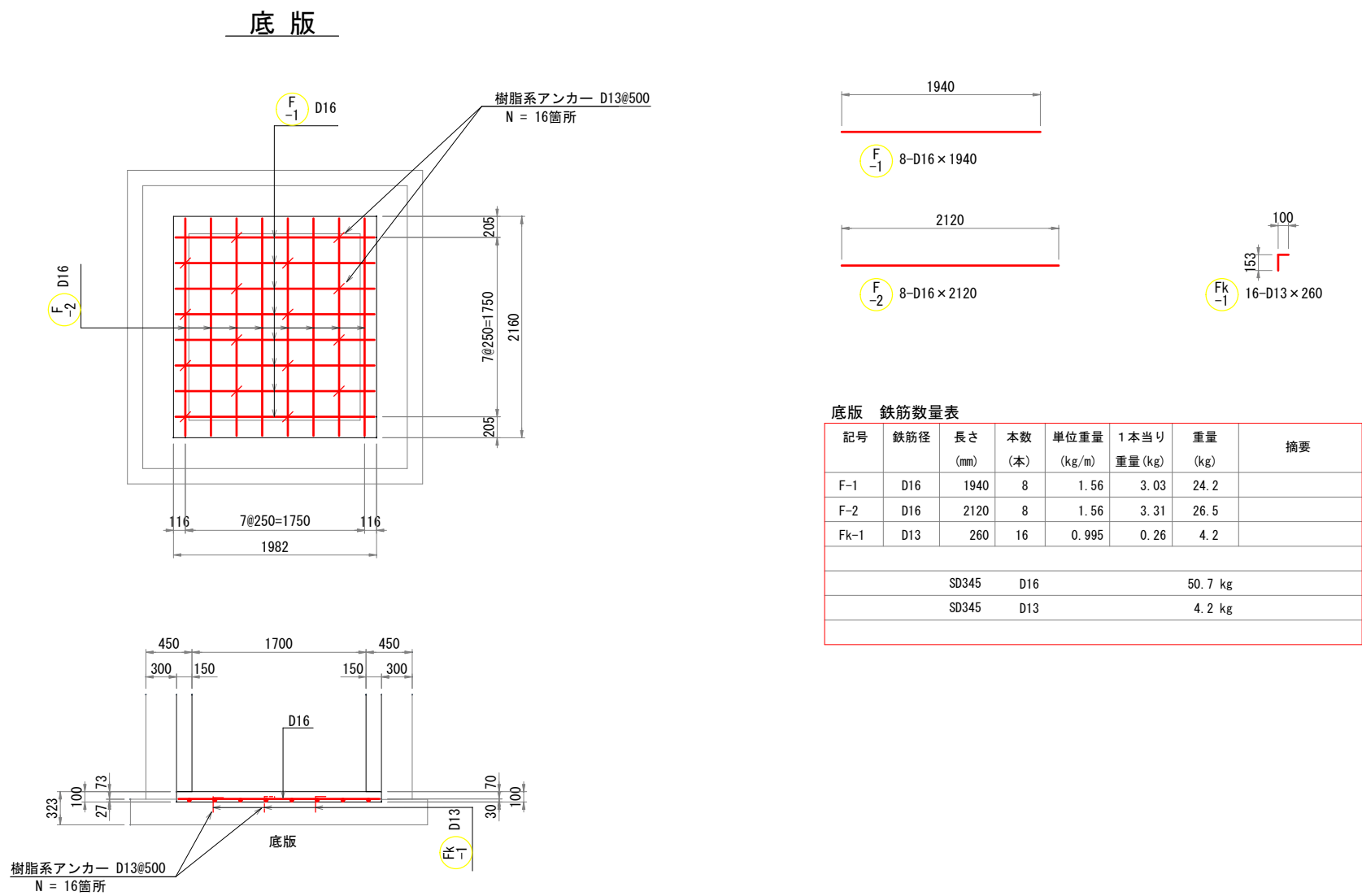
A-A 断面図



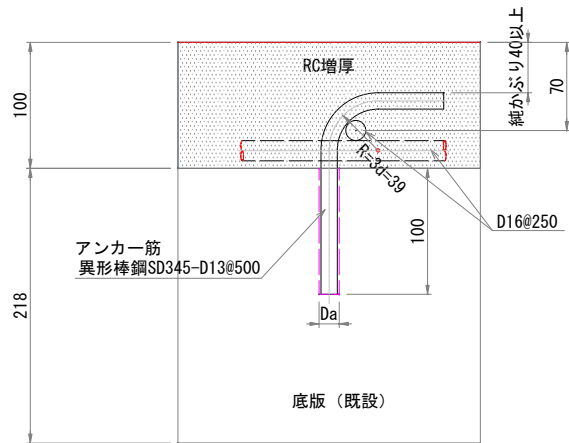
B-B 断面図



工 事 名	下水道改良工事 (地震対策R7-3)		
工 事 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 面 名	J117135001 特殊マンホール耐震補強構造図		
図 面 枚 数	12 / 27	縮 尺	1:40
甲 府 市 上 下 水 道 局			



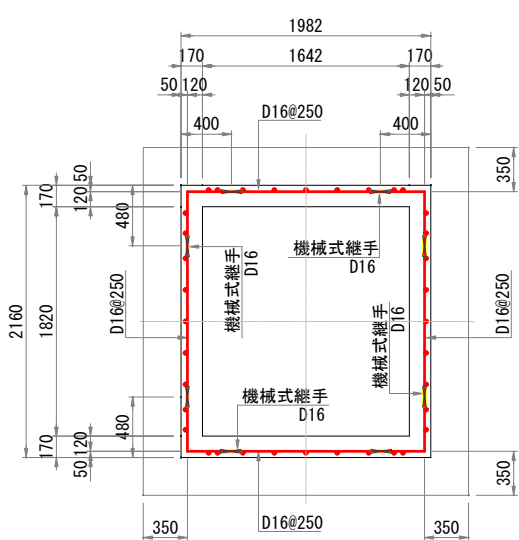
あと施工アンカー標準図



- 特記
- あと施工アンカーは、接着系アンカーとする。
 - 接着剤は、樹脂カプセル型の有機系のものとし基本接着強度10N/mm2とする。
 - ハツリ又は洗浄後の躯体には、目荒しを施す事とする。
 - アンカーの埋込穴の直径は、各メーカーのアンカー規格に合った適正なドリルビット径とし、穴の周辺コンクリートに損傷を与えない物でなければならない。
 - アンカー孔内の切粉やゴミを、占有ブラシ・フロアーを使用して念入りに清掃すること。
 - 穴あけに失敗した場合は、2.5d以上離して再度穴あけを行う。失敗アンカー孔はモルタルにて補修すること。

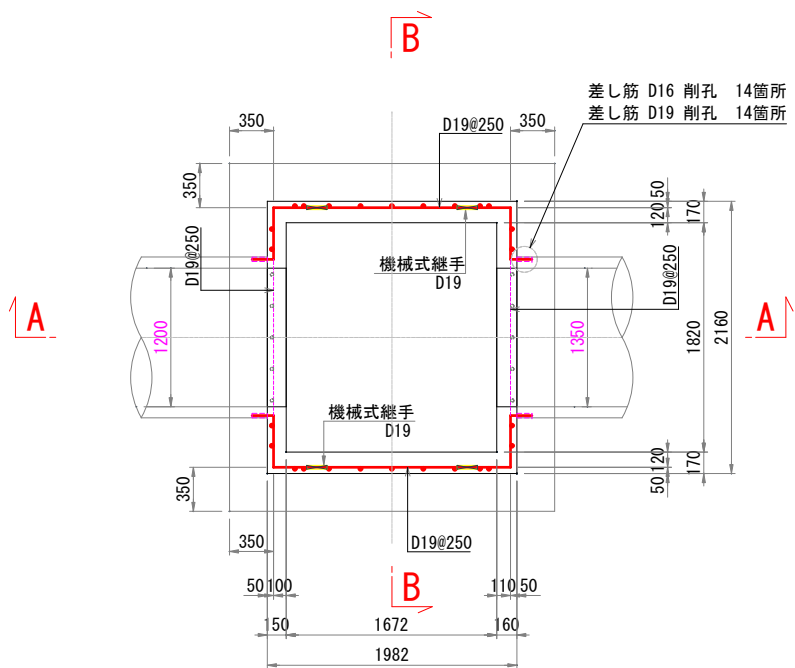
J117135001 特殊マンホール配筋図（2） S=1:30

側壁標準配筋図
(C-C)

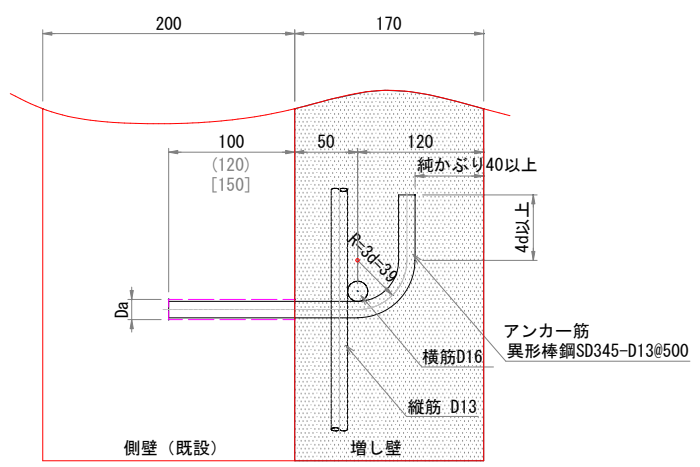


機械式継手 D16 50本
機械式継手 D19 18本

D-D 断面図

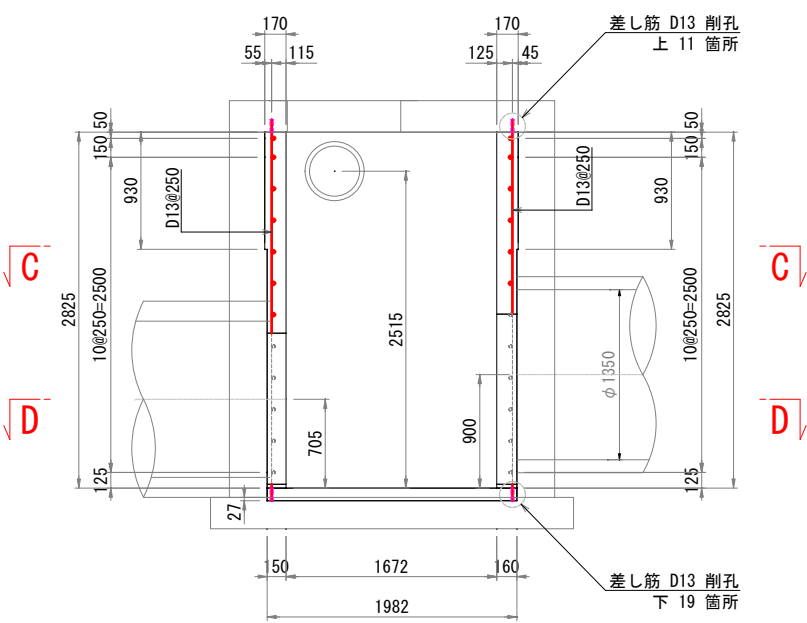


あと施工アンカー標準図

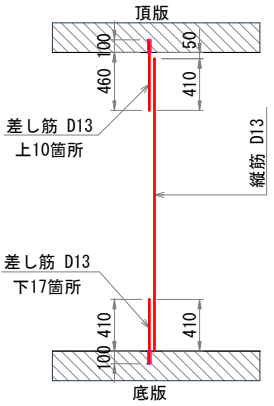
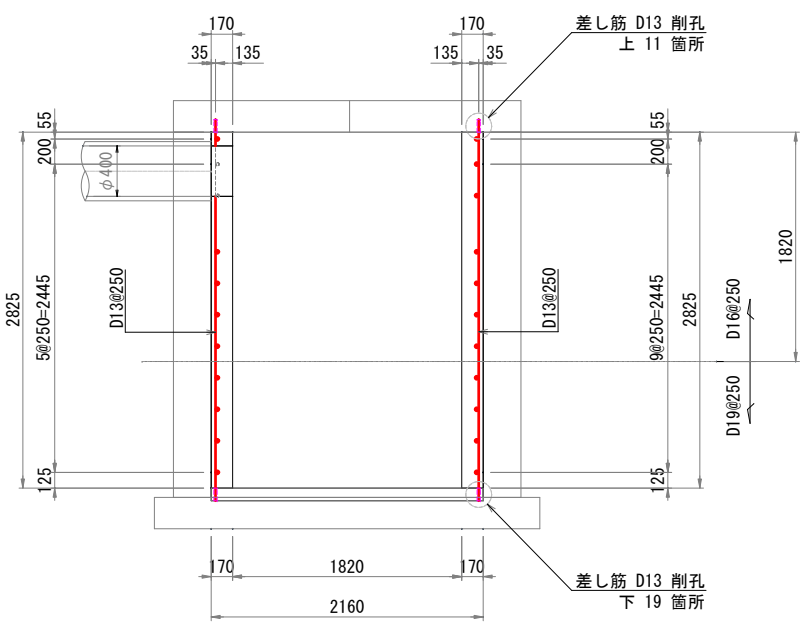


特記：頂版及び底版に施工するアンカーを参照
() 内は D16mm 差し筋アンカーの埋め込み長である。
[] 内は D19mm 差し筋アンカーの埋め込み長である。

A-A 断面図



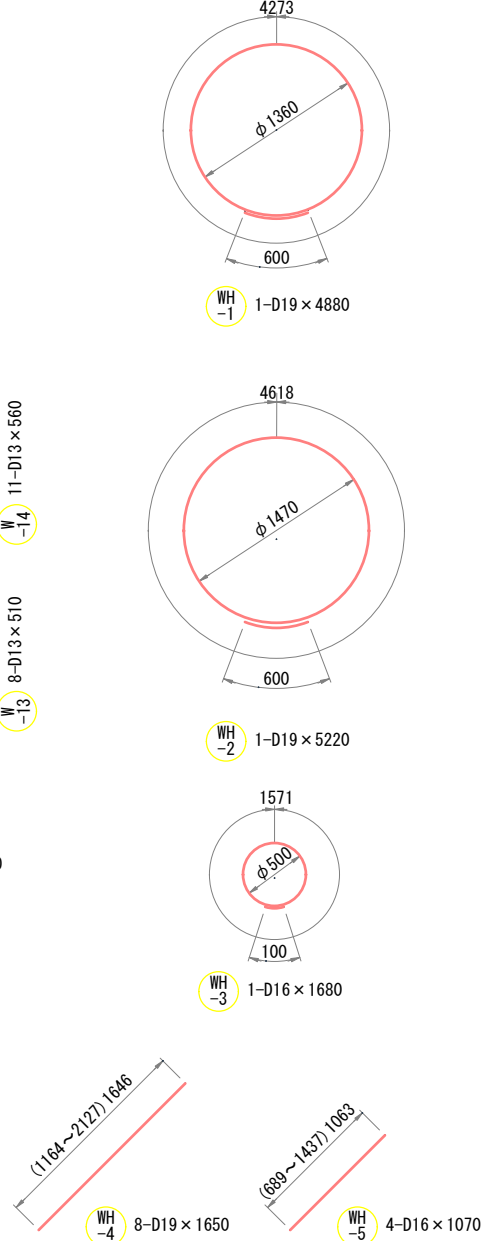
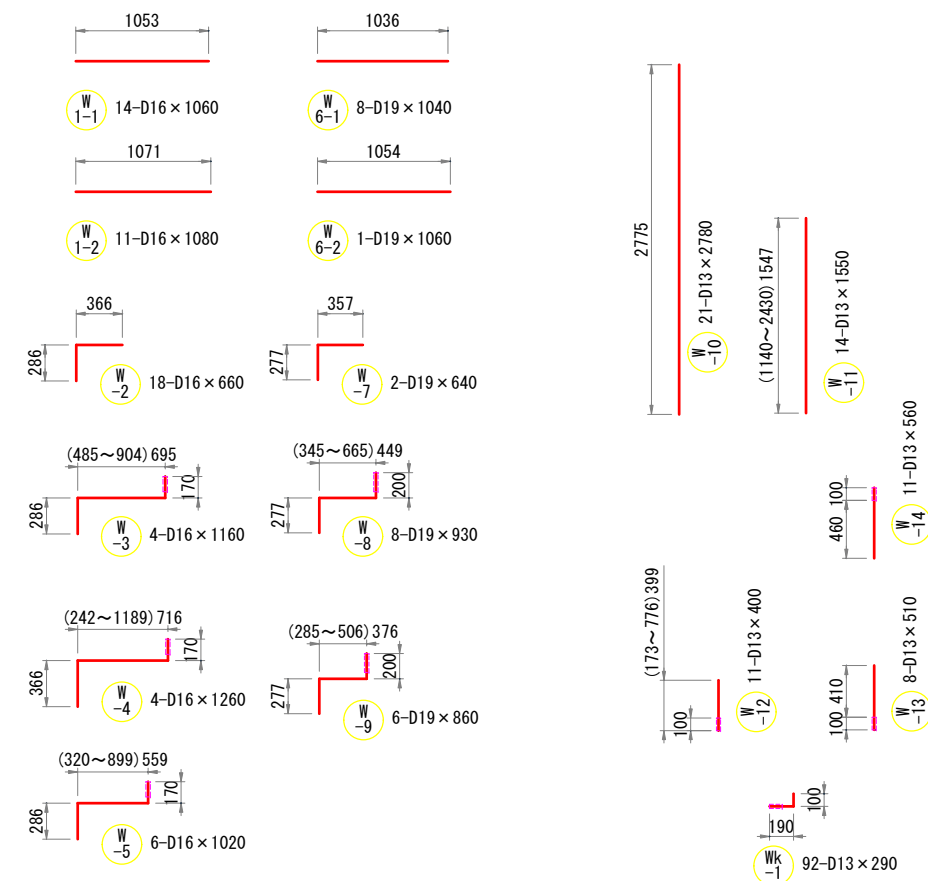
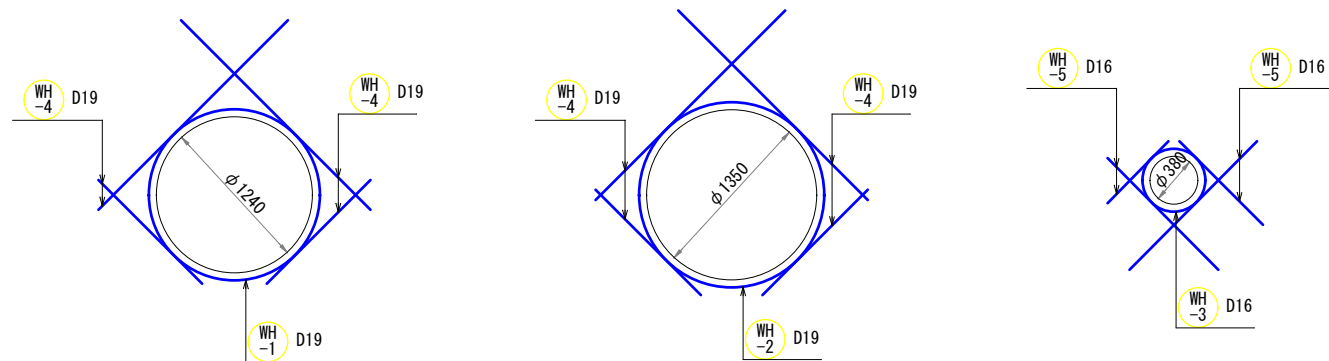
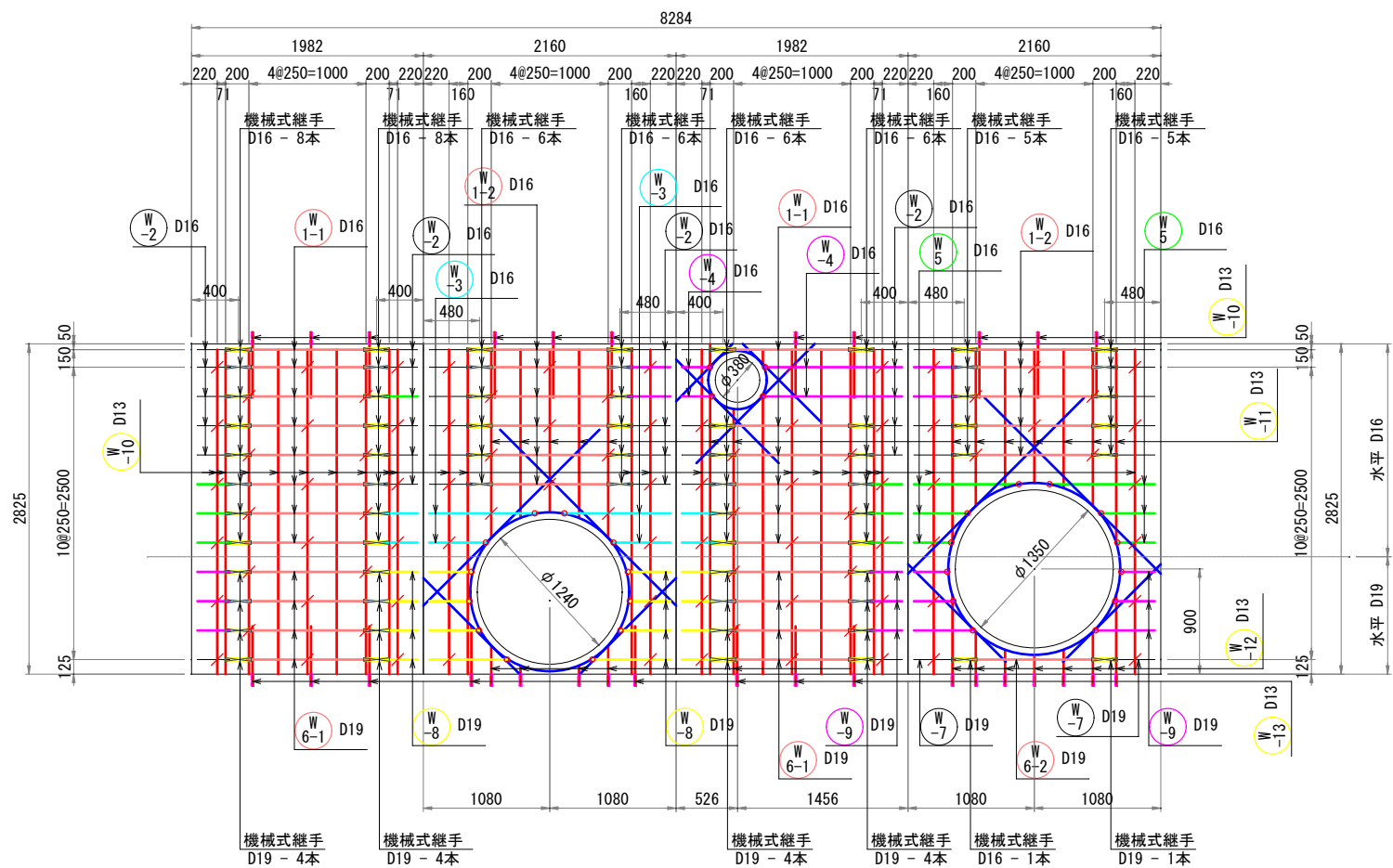
B-B 断面図



工 事 名	下水道改良工事（地震対策R7-3）		
工 事 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 面 名	J117135001 特殊マンホール配筋図（2）		
図 面 枚 数	14 / 27	縮 尺	S=1 : 30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J117135001 特殊マンホール配筋図 (3) S=1:30

側壁展開図



側壁 鉄筋質量表

記号	鉄筋径	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り 重量(kg)	重量 (kg)	D13 (kg)	D16 (kg)	D19 (kg)	摘要
W 1-1	D16	1060	14	1.56	1.65	23.1		23.1		
W 1-2	D16	1080	11	1.56	1.68	18.5		18.5		
W -2	D16	660	18	1.56	1.03	18.5		18.5		
W -3	D16	1160	4	1.56	1.81	7.2		7.2		
W -4	D16	1260	4	1.56	1.97	7.9		7.9		
W -5	D16	1020	6	1.56	1.59	9.5		9.5		
W 6-1	D19	1040	9	2.25	2.34	18.7			18.7	
W 6-2	D19	1060	9	2.25	2.39	2.4			2.4	
W -7	D19	640	2	2.25	1.44	2.9			2.9	
W -8	D19	930	8	2.25	2.09	16.7			16.7	
W -9	D19	860	6	2.25	1.94	11.6			11.6	
W -10	D13	2780	21	0.995	2.77	58.2	58.2			
W -11	D13	1550	14	0.995	1.54	21.6	19.1			
W -12	D13	400	11	0.995	0.40	4.4	4.4			
W -13	D13	510	8	0.995	0.51	4.1	4.1			
W -14	D13	560	11	0.995	0.56	6.2	6.2			
Wk-1	D13	290	92	0.995	0.29	26.7	26.7			
WH-1	D19	4880	1	2.25	10.98	11.0			11.0	
WH-2	D19	5220	1	2.25	11.75	11.8			11.8	
WH-3	D16	1680	1	1.56	2.62	2.6		2.6		
WH-4	D19	1650	8	2.25	3.71	29.7			29.7	
WH-5	D16	1070	4	1.56	1.67	6.7		6.7		
計						320.0	121.2	94.0	104.8	
SD345 D19						104.8 kg				
SD345 D16						94.0 kg				
SD345 D13						121.2 kg				
機械式継手 D16						50 本				
機械式継手 D19						18 本				

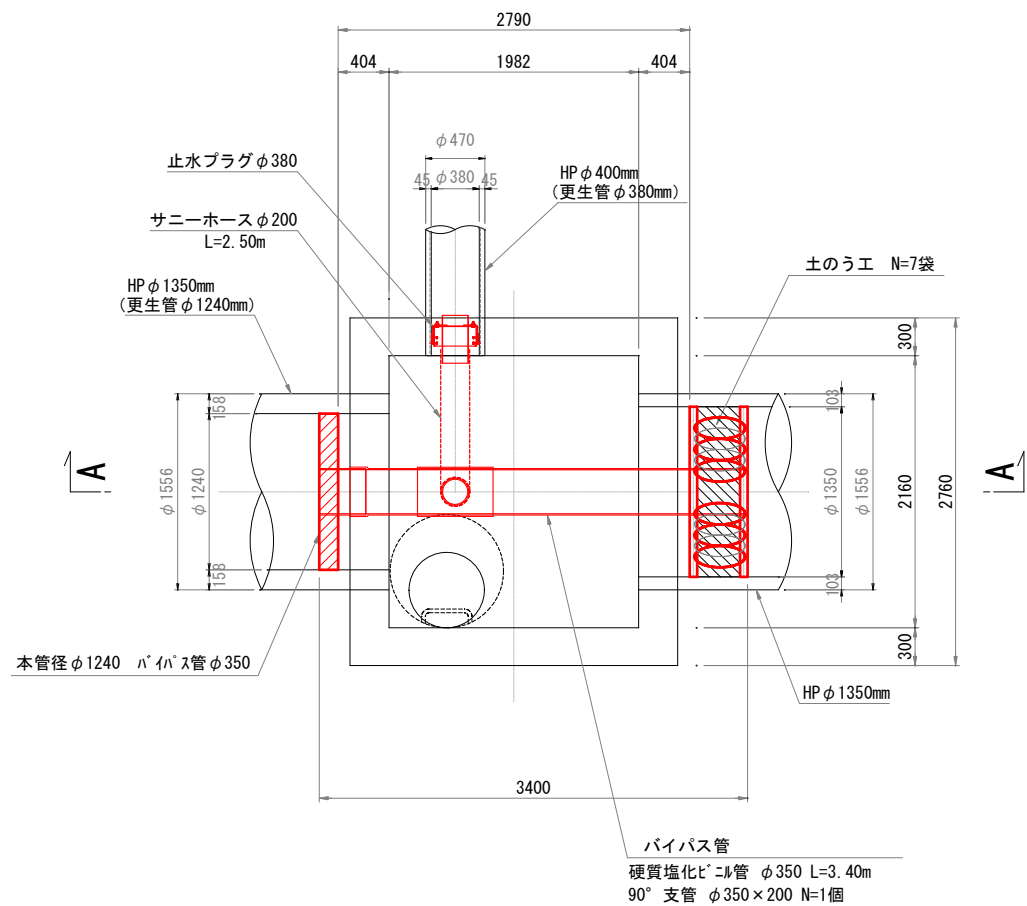
削孔数量

削 孔	数 量	備 考
D13用 (上向)	11 箇所	W14の本数に同じ
D13用 (横向)	92 箇所	Wk1の本数に同じ
D13用 (下向)	19 箇所	W12+W13の本数に同じ
D16用 (横向)	14 箇所	W3+W4+W5の本数に同じ
D19用 (横向)	14 箇所	W8+W9の本数に同じ

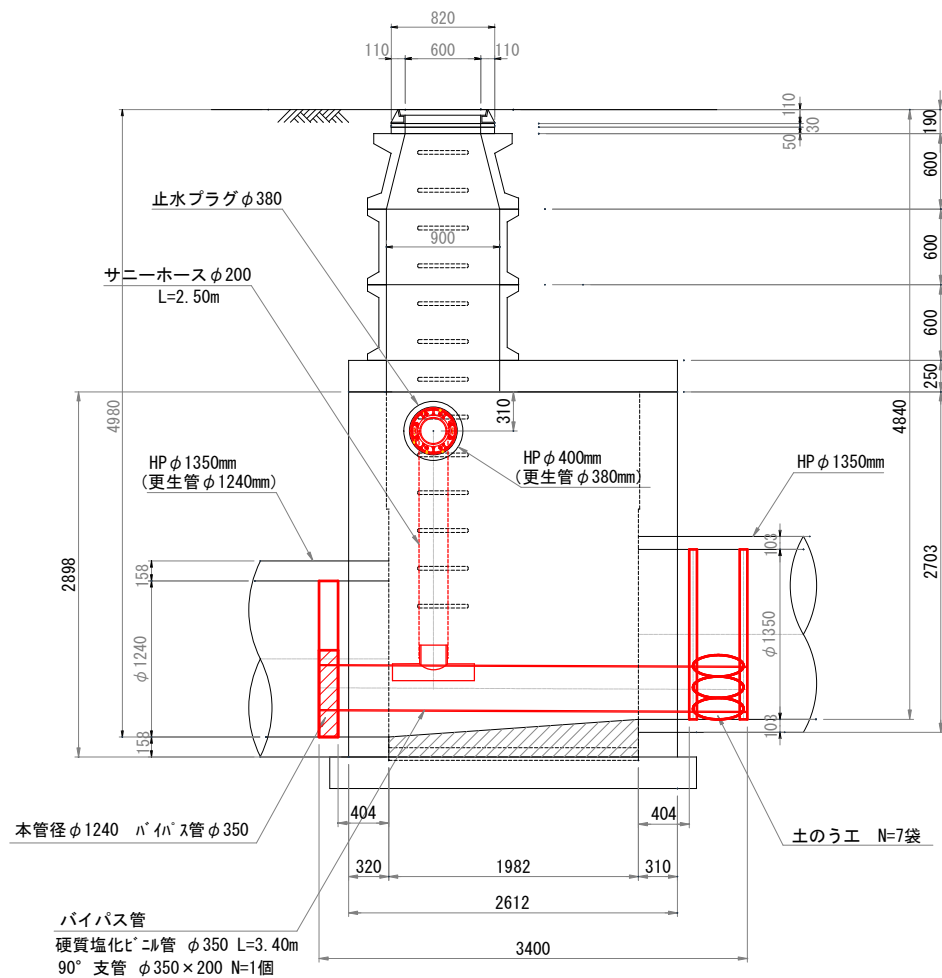
工 事 名	下水道改良工事 (地震対策R7-3)		
工 事 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 面 名	J117135001 特殊マンホール配筋図 (3)		
図 面 数	15 / 27	縮 尺	S=1 : 30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J117315001 特殊マンホール仮排水仮設図 S=1:30

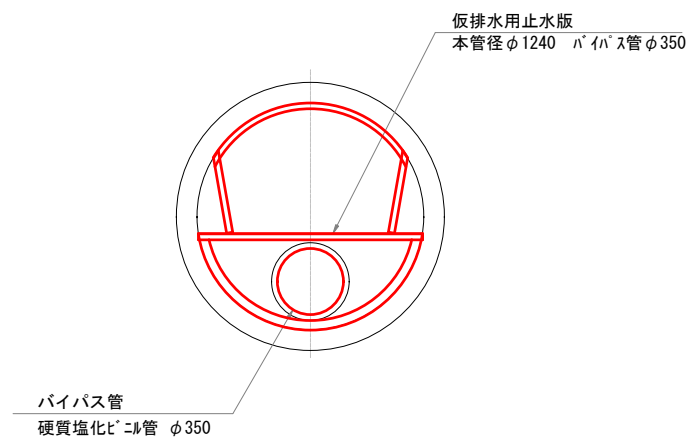
平面図



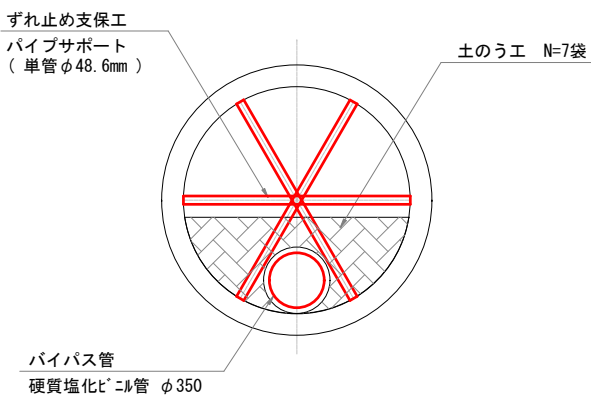
A-A 断面図



B-B 断面図



C-C 断面図



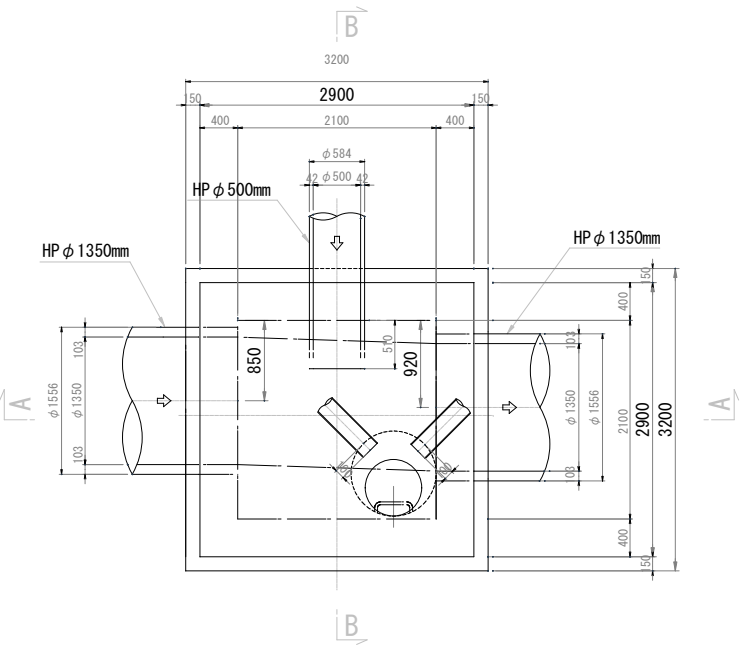
工 事 名	下水道改良工事（地震対策R7-3）		
工 事 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 面 名	J117315001 特殊マンホール仮排水仮設図		
図 面 枚 数	16 / 27	縮 尺	S=1 : 30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

工事 名称	下水道改良工事（地震対策R7-3）		
工事 箇所	甲府市丸の内一丁目地内		
図面 名称	④J117134002 特殊マンホール位置図		
図面 枚数	17 / 27	縮尺	1 : 2500
甲府市上下水道局			

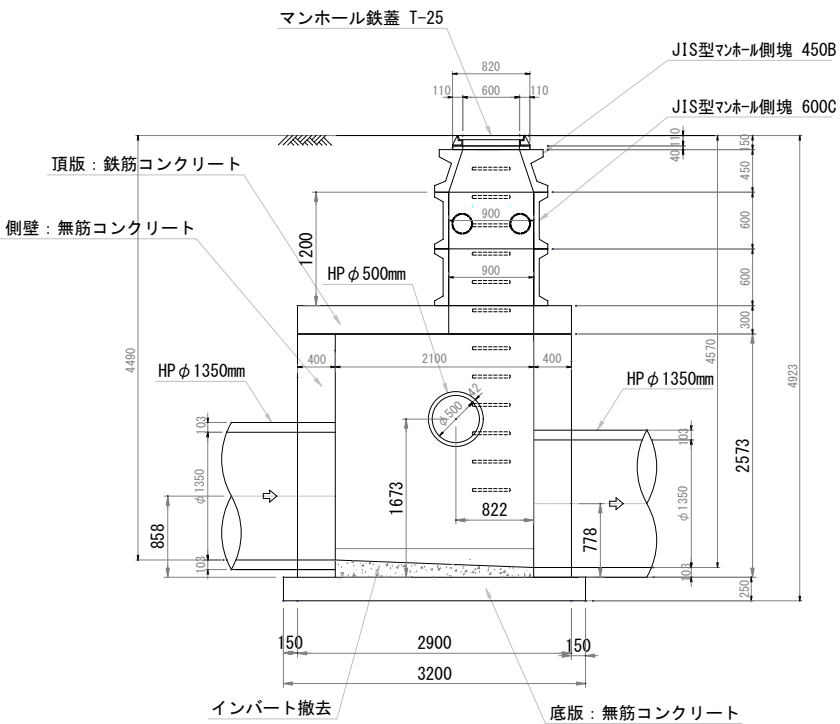
J117134002 特殊マンホール既設構造図及び完成構造図 S=1:40

既
設
構
造
図

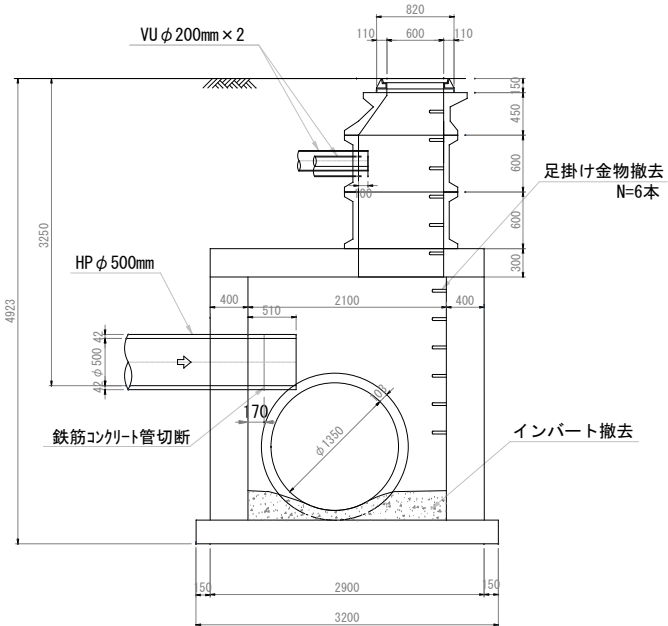
平面図



A-A 断面図

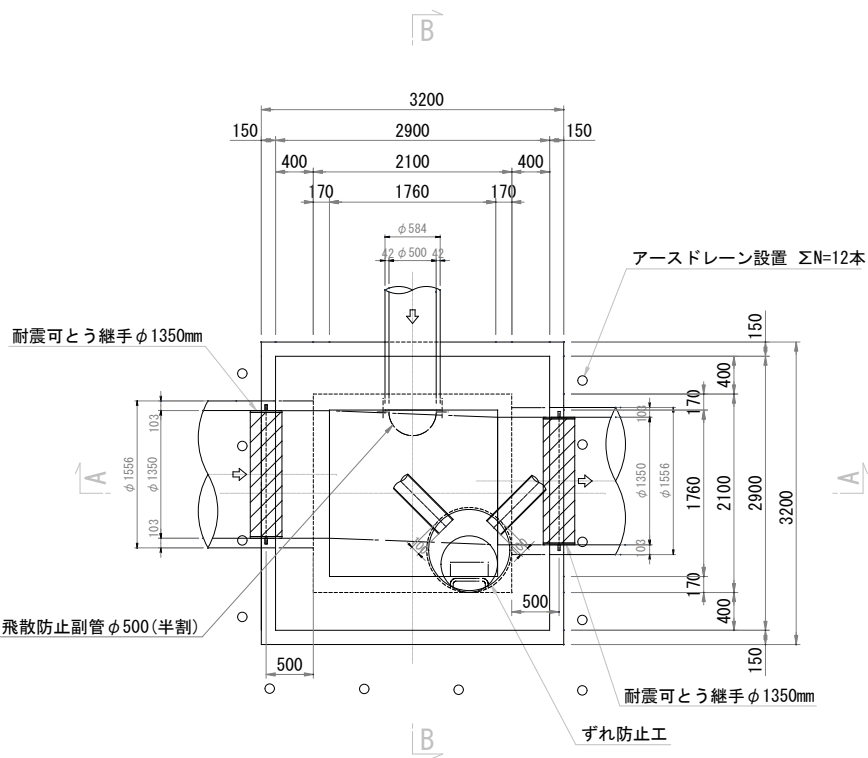


B-B 断面図

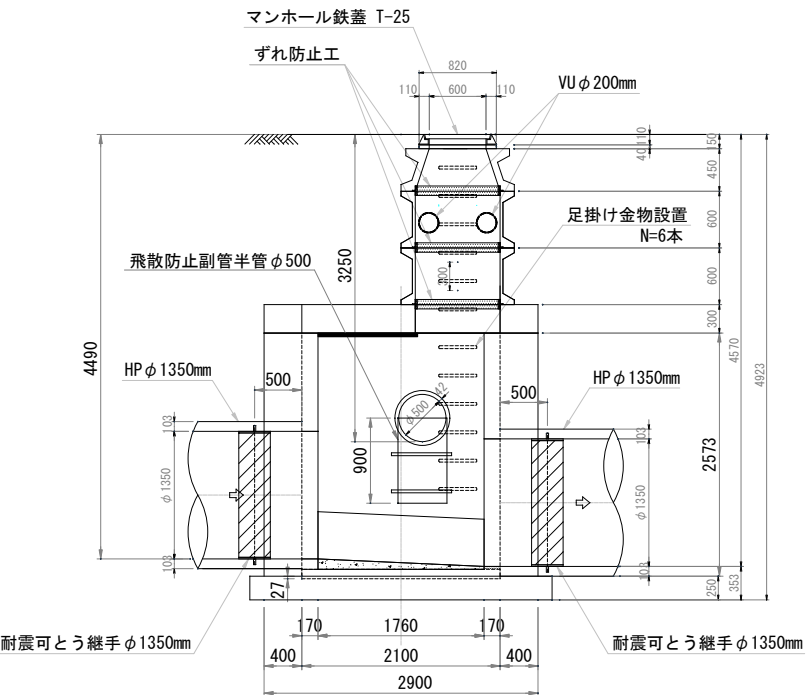


完
成
構
造
図

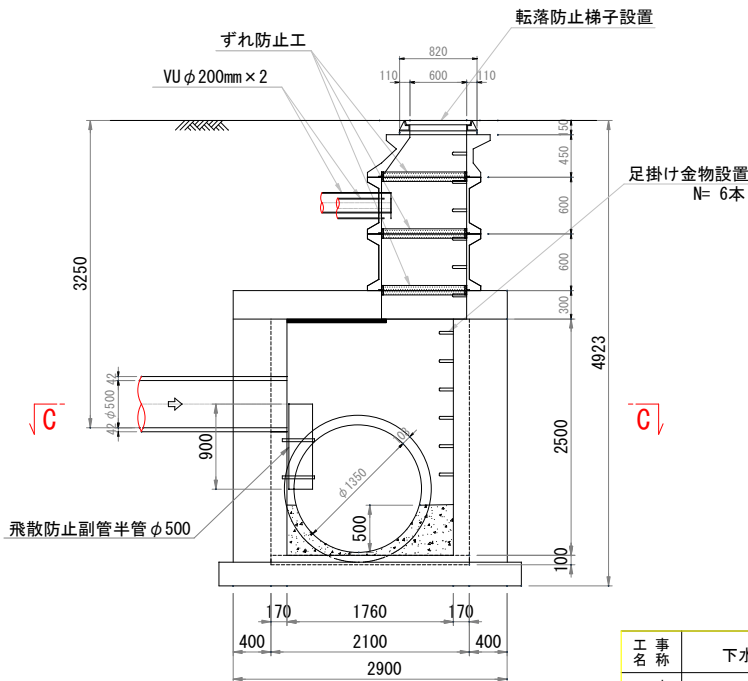
平面図



A-A 断面図



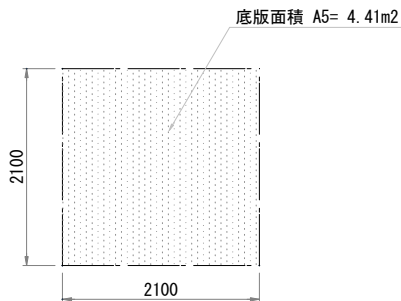
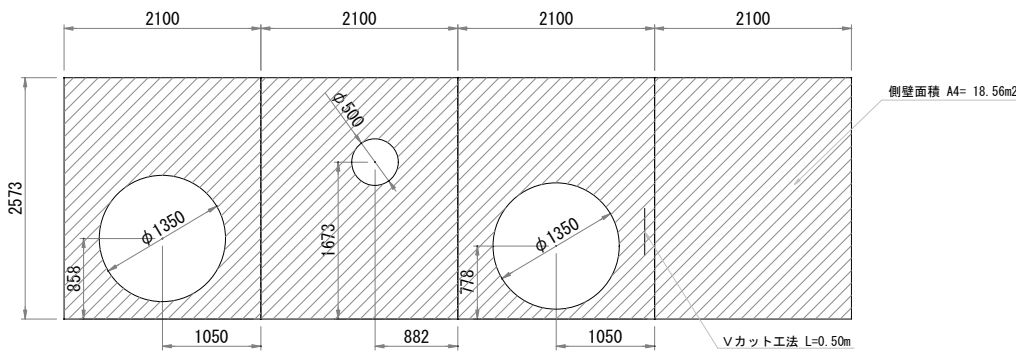
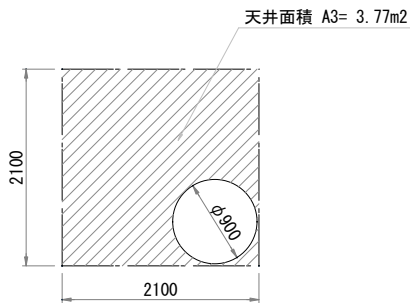
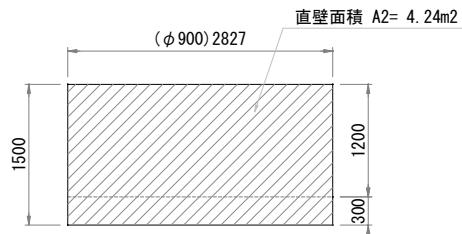
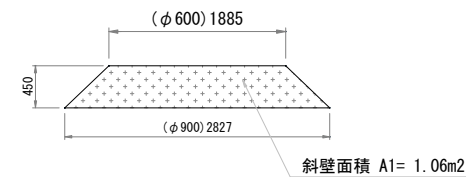
B-B 断面図



工 事 名	下水道改良工事（地震対策R7-3）		
工 事 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 面 名	J117134002 特殊マンホール既設構造図及び完成構造図		
図 面 枚 数	18 / 27	縮 尺	S=1 : 40
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J117134002 特殊マンホールはつり・断面修復工図 S=1:40

人孔内面展開図

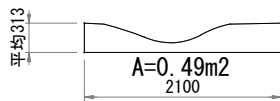


はつり・洗浄工・断面修復等 数量表

項 目	面積 (m2)	洗浄工 (m2)	はつり厚 (mm)	はつり面積 (m2)	人力取壊し工 (m3)	断面修復工 (m2)	備考
斜 壁 A1	1.06	1.06	—	—	—	—	
直 壁 A2	4.24	4.24	—	—	—	—	
天 井 A3	3.77	3.77	10	3.78	—	3.78	
躯体側壁 A4	18.56	18.56	10	18.43	—	—	
底 版 A5	4.41	4.41	27	4.41	—	—	
インバート工	—	—	—	—	1.03	—	復旧0.69m3
計	—	32.04	—	26.62	1.03	3.78	

注) 1. はつり工は、人力による切削工とする。
2. 頂版に鉄筋が露出していた場合は、裏側までハツリ出して防錆材の塗布を行う。

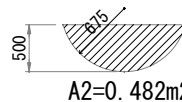
インバート取り壊し平均断面



取壊しV=0.49×2.10=1.03m3

インバート控除面積

Φ1350



復旧 V=1.76×1.76×0.50−0.482×1.78=0.691m3

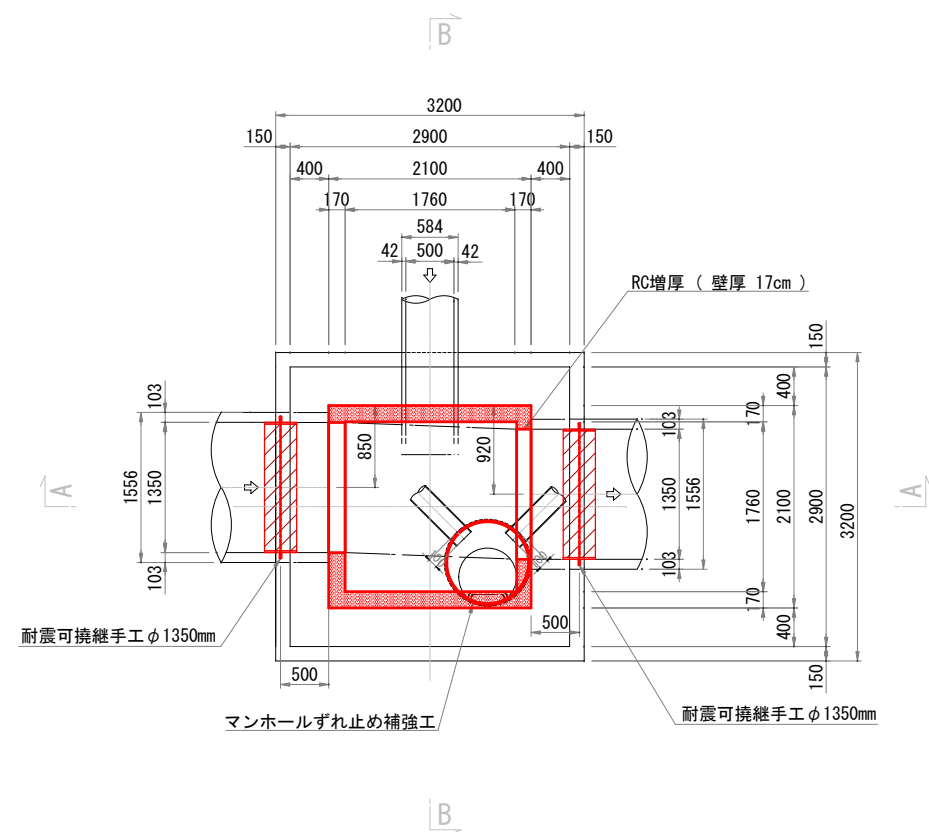
改築更新材料及び補修工

項 目	仕 様	単位	数量	備 考
足掛金物撤去	W-400	本	6	
足掛金物設置	W-400	本	6	
浸入水止水処理	Vカット工法	m	0.5	浸入水(0.5m×1ヶ所)
飛散防止副管φ500(半割)	φ500	箇所	1	L=0.90m
転落防止梯子(後付け)	φ600用	個	1	
鉄筋コンクリート管切断	φ500	箇所	1	

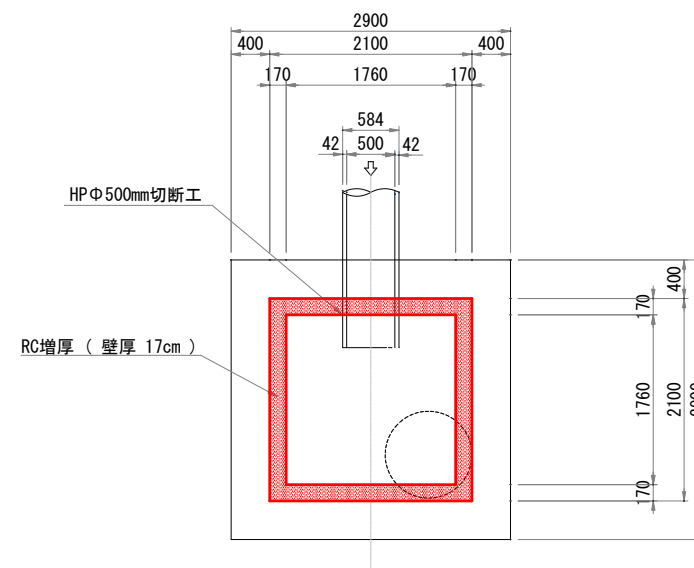
工 事 名 称	下水道改良工事(地震対策R7-3)		
工 事 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 面 名 称	J117134002 特殊マンホールはつり断面修復工図		
図 面 枚 数	19 / 27	縮 尺	1:40
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J117134002 特殊マンホール耐震補強構造図 S=1:40

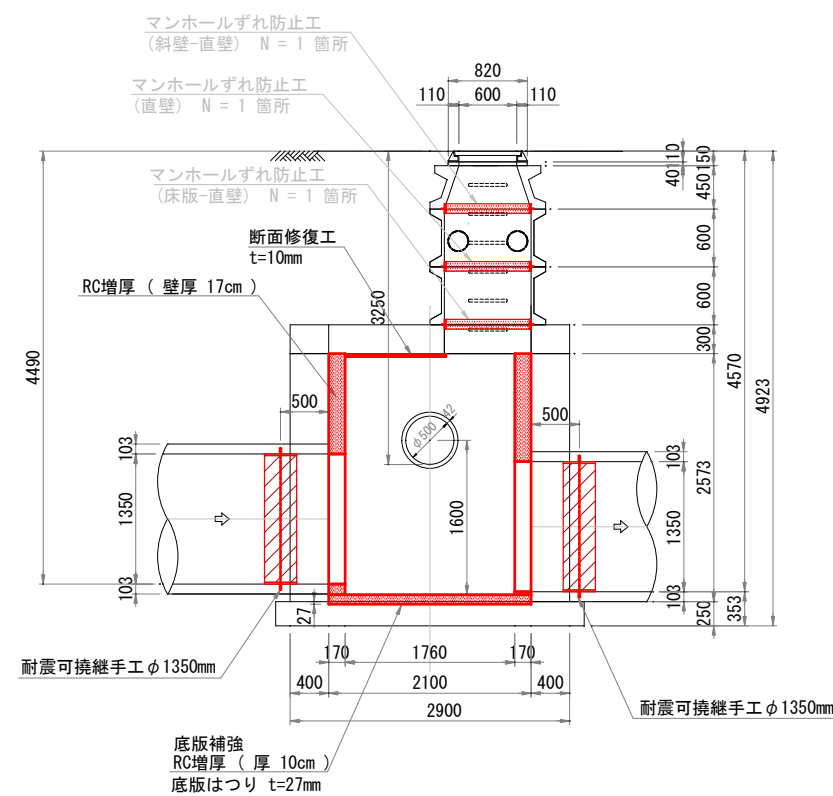
平面図



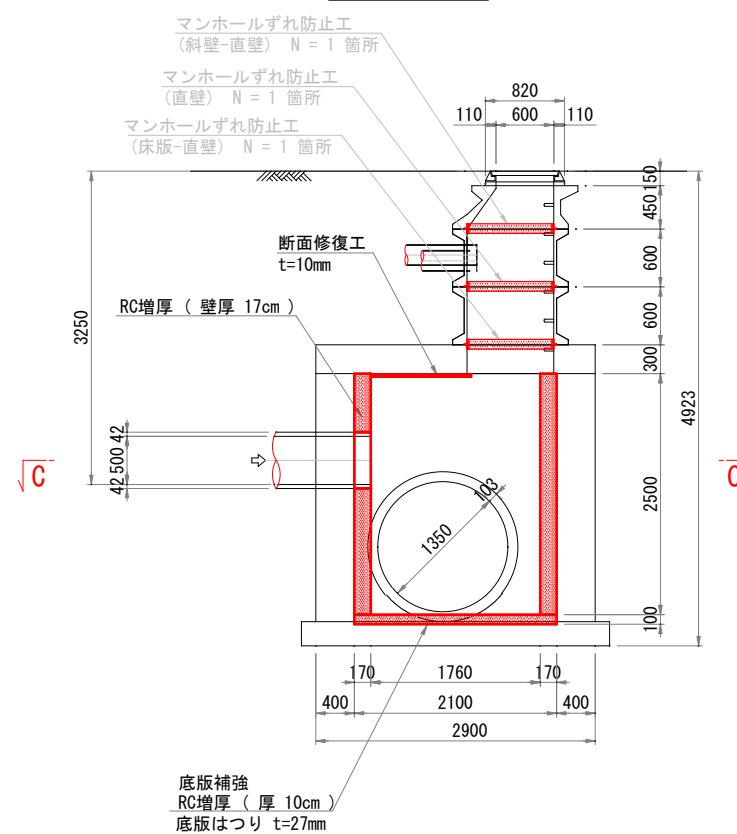
C-C 断面図



A-A 断面図



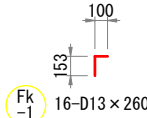
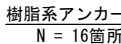
B-B 断面図



工 事 名	下水道改良工事（地震対策R7-3）		
工 事 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 面 名	J117134002 特殊マンホール耐震補強構造図		
図 面 枚	20 / 27	縮 尺	1:40
甲 府 市 上 下 水 道 局			

S=1 : 30

底版



底版 鉄筋数量表

記号	鉄筋径	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り 重量(kg)	重量 (kg)	摘要
F-1	D16	2060	16	1.56	3.21	51.4	
Fk-1	D13	260	16	0.995	0.26	4.2	
		SD345	D16			51.4 kg	
		SD345	D13			4.2 kg	

あと施工アンカー標準図



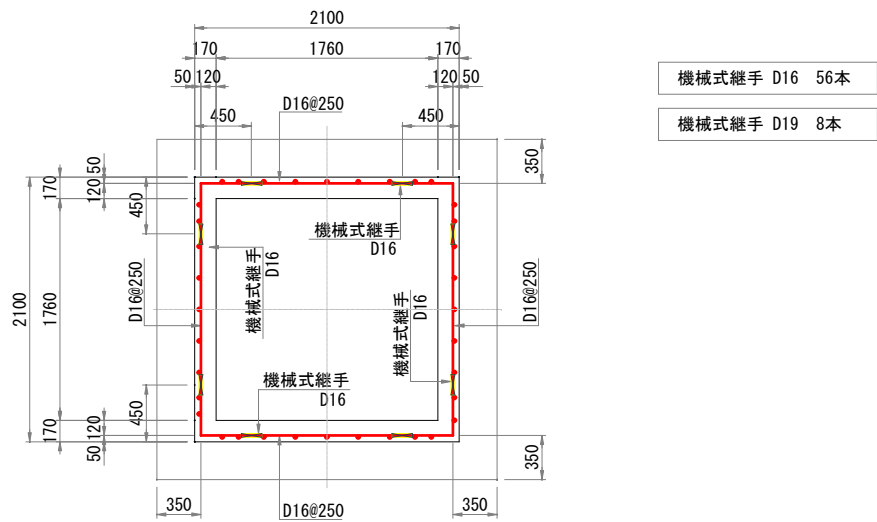
特記

1. あと施工アンカーは、接着系アンカーとする。
2. 接着剤は、樹脂カプセル型の有機系のもとし基本接着強度10N/mm2とする。
3. ハツリ又は洗浄後の躯体には、目荒しを施す事とする。
4. アンカーの埋込穴の直径は、各メーカーのアンカー規格に合った適正なドリルビット径とし、穴の周辺コンクリートに損傷を与えない物でなければならない。
5. アンカー孔内の切粉やゴミを、占用ブラシ・ブロアーを使用して念入りに清掃すること。
6. 穴あけに失敗した場合は、2.5d以上離して再度穴あけを行う。失敗アンカー孔はモルタルにて補修すること。

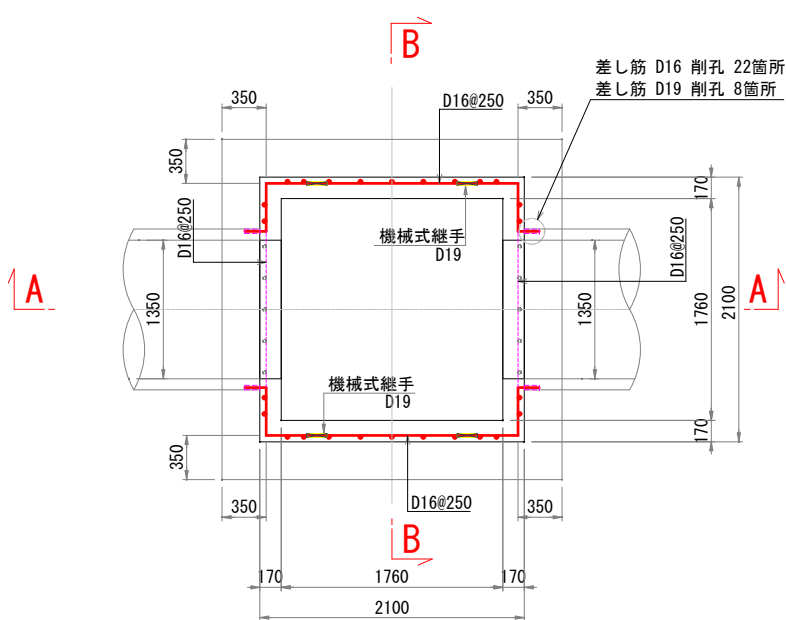
工名	工事	下水道改良工事（地震対策R7～3）		
工箇所	工事	甲府市丸の内一丁目地内		
図名	面称	J117134002 特殊マンホール配筋図（1）		
図枚	面数	21 / 27	縮尺	S=1 : 30
甲府市上下水道局				

J117134002 特殊マンホール配筋図（2） S=1:30

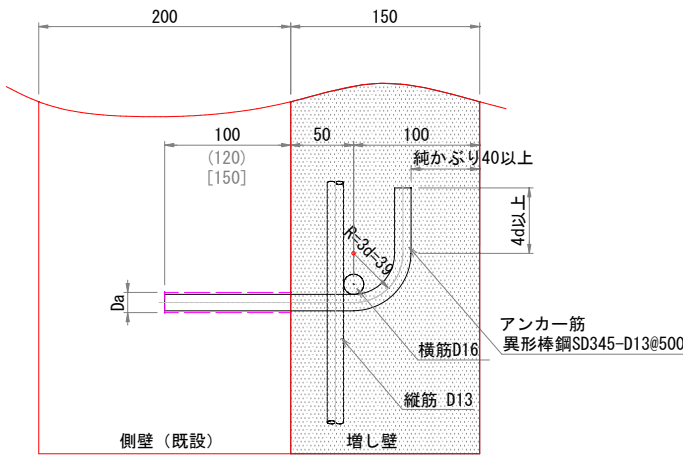
側壁標準配筋図
(C-C)



D-D 断面図

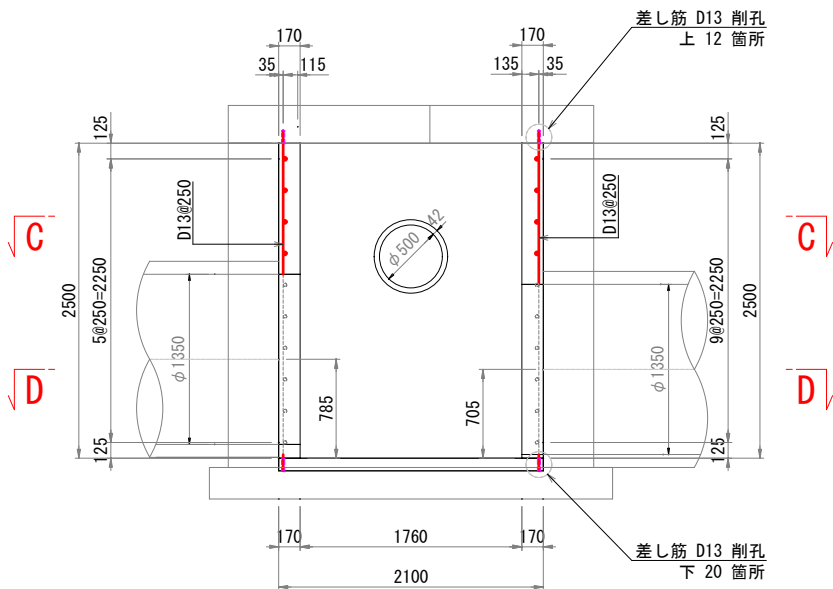


あと施工アンカー標準図

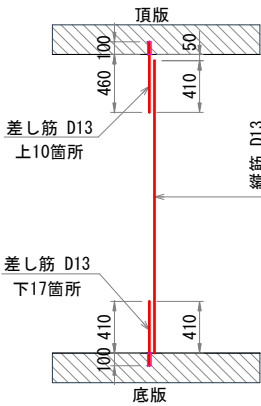
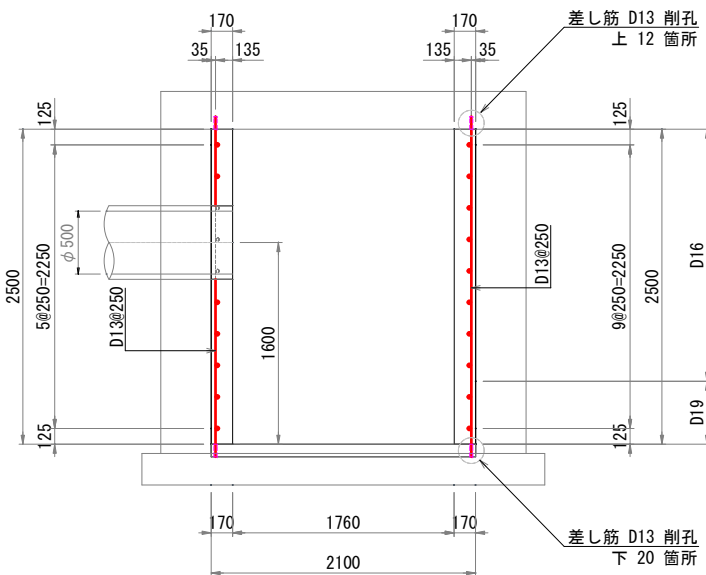


特記：頂版及び底版に施工するアンカーを参照
() 内は D16mm 差し筋アンカーの埋め込み長である。
[] 内は D19mm 差し筋アンカーの埋め込み長である。

A-A 断面図



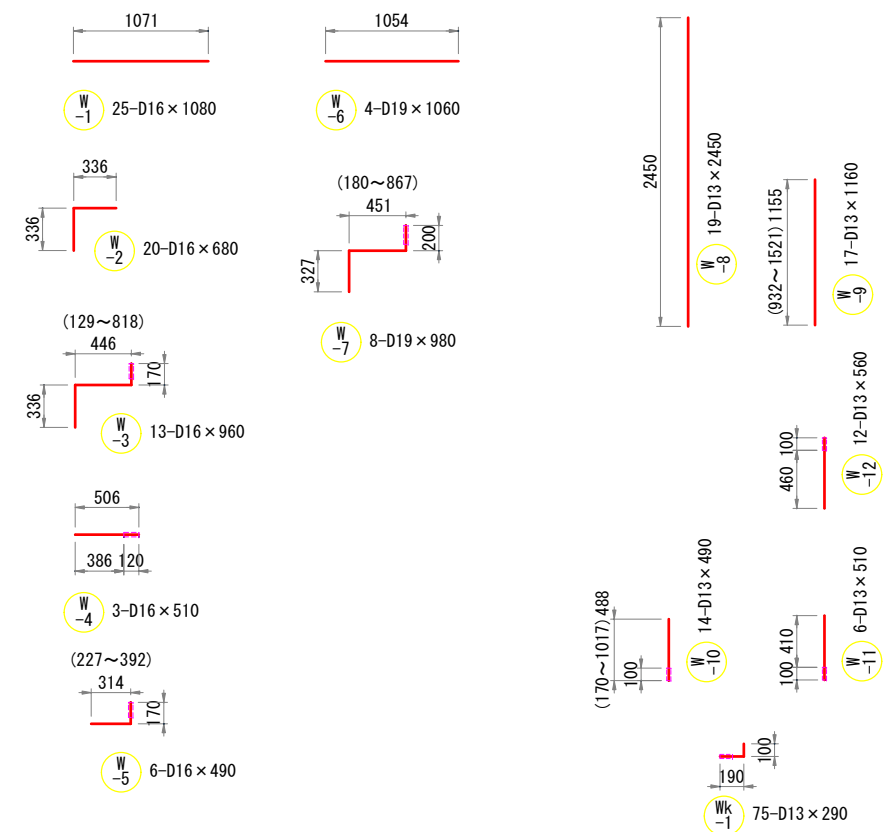
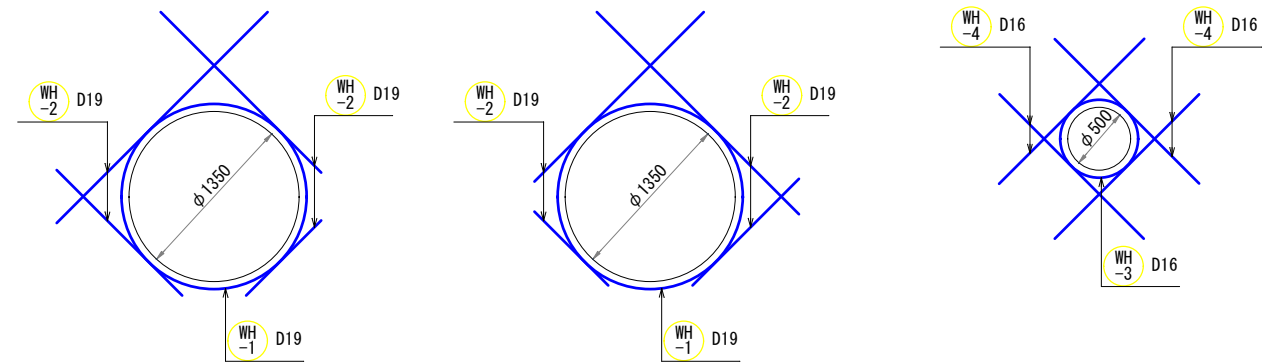
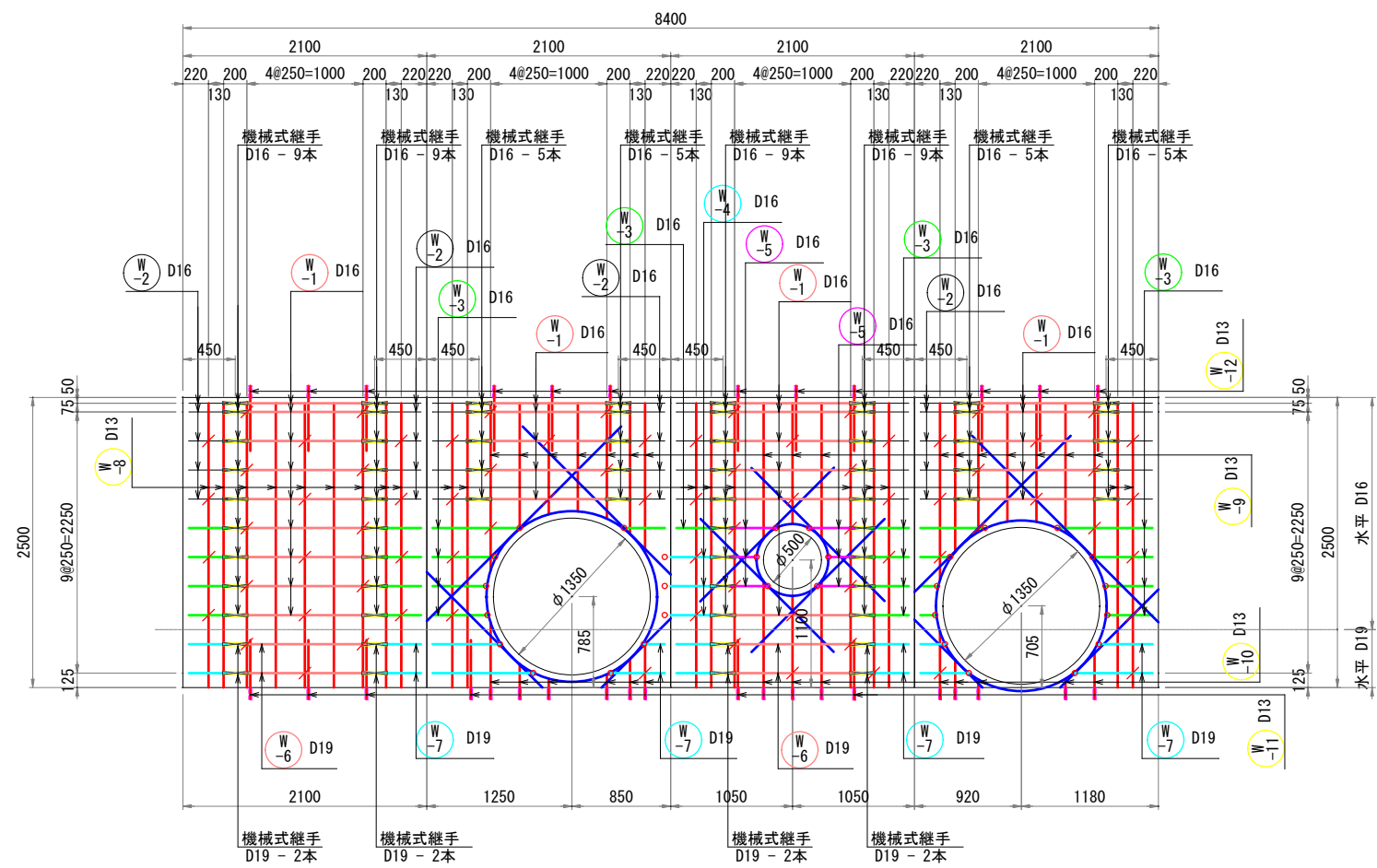
B-B 断面図



工 事 名	下水道改良工事（地震対策R7-3）		
工 事 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 名	J117134002 特殊マンホール配筋図（2）		
図 面 枚 数	22 / 27	縮 尺	S=1 : 30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J117134002 特殊マンホール配筋図（3） S=1:30

側壁展開図



側壁 鉄筋質量表

記号	鉄筋径	長さ (mm)	本数 (本)	単位重量 (kg/m)	1本当り 重量(kg)	重量 (kg)	D13 (kg)	D16 (kg)	D19 (kg)	摘要
W-1	D16	1080	25	1.56	1.68	42.0		42.0		
W-2	D16	680	20	1.56	1.06	21.2		21.2		
W-3	D16	960	13	1.56	1.50	19.5		19.5		
W-4	D16	510	3	1.56	0.80	2.4		2.4		
W-5	D16	490	6	1.56	0.76	4.6		4.6		
W-6	D19	1060	4	2.25	2.39	9.6			9.6	
W-7	D19	980	8	2.25	2.21	17.7			17.7	
W-8	D13	2450	19	0.995	2.44	46.4	46.4			
W-9	D13	1160	17	0.995	1.15	19.6	19.6			
W-10	D13	490	14	0.995	0.49	6.9	6.9			
W-11	D13	510	6	0.995	0.51	3.1	3.1			
W-12	D13	560	12	0.995	0.56	6.7	6.7			
Wk-1	D13	290	75	0.995	0.29	21.8	21.8			
WH-1	D19	5220	2	2.25	11.75	23.5			23.5	
WH-2	D19	1490	8	2.25	3.35	26.8			26.8	
WH-3	D16	2050	1	1.56	3.20	3.2		3.2		
WH-4	D19	1620	4	1.56	2.53	10.1		10.1		
計						285.1	104.5	103.0	77.6	
SD345 D19						77.6 kg				
SD345 D16						103.0 kg				
SD345 D13						104.5 kg				
機械式継手 D16						56 本				
機械式継手 D19						8 本				

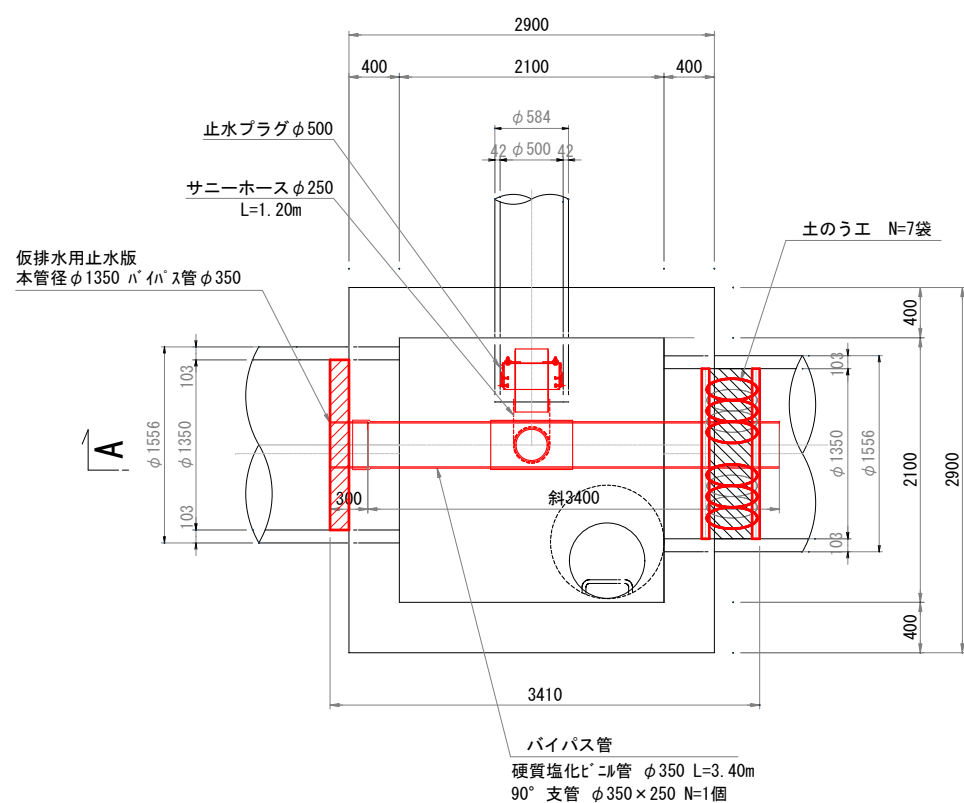
削孔数量

削孔	数量	備考
D13用（上向）	12 箇所	W12の本数に同じ
D13用（横向）	75 箇所	Wk1の本数に同じ
D13用（下向）	20 箇所	W10+W11の本数に同じ
D16用（横向）	22 箇所	W3+W4+W5の本数に同じ
D19用（横向）	8 箇所	W7の本数に同じ

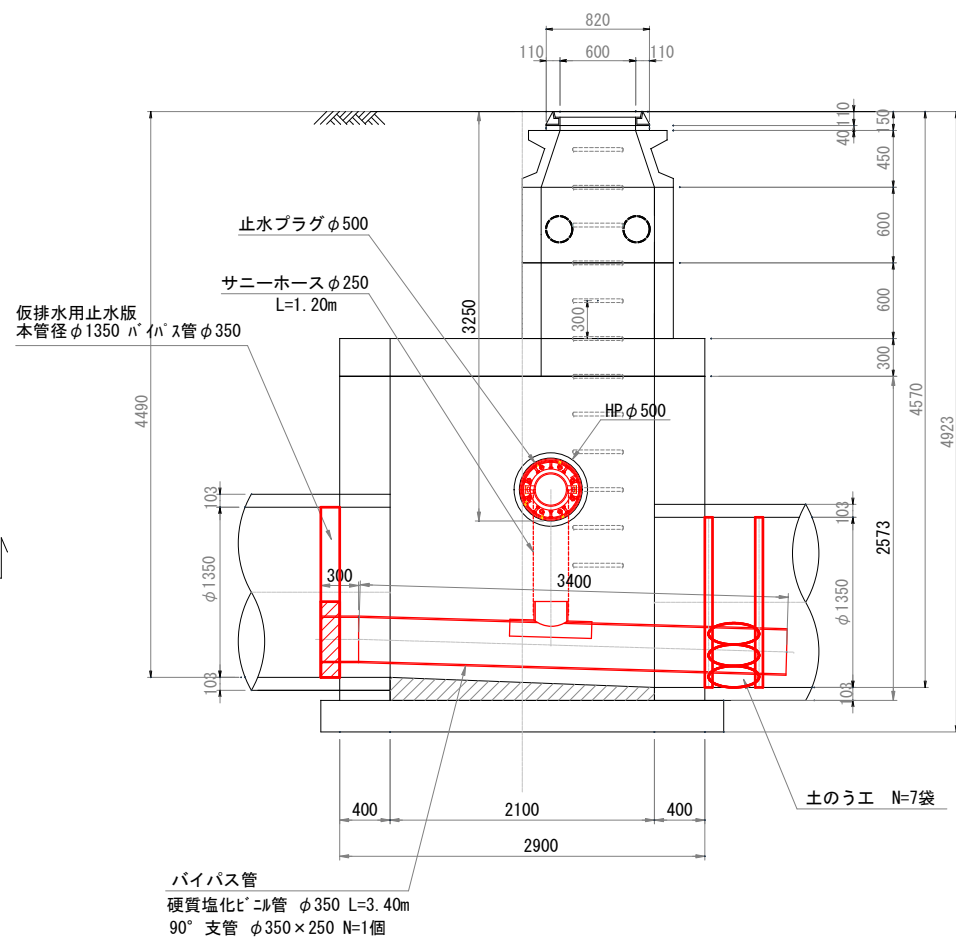
工 事 名	下水道改良工事（地震対策R7-3）		
工 事 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 面 名	J117134002 特殊マンホール配筋図（3）		
図 面 枚 数	23 / 27	縮 尺	S=1:30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J117134002 特殊マンホール仮排水仮設図 S=1:30

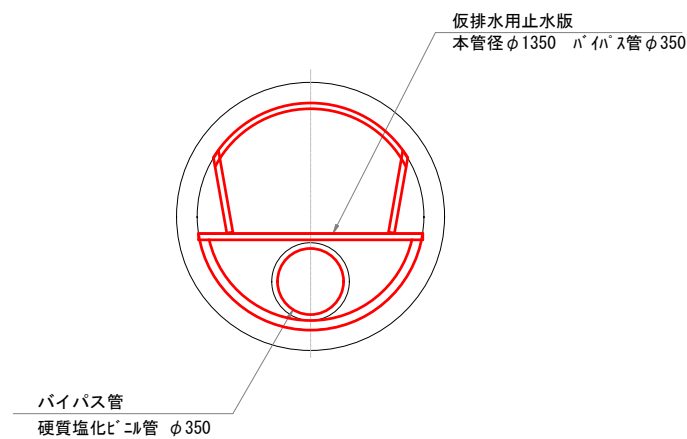
平面図



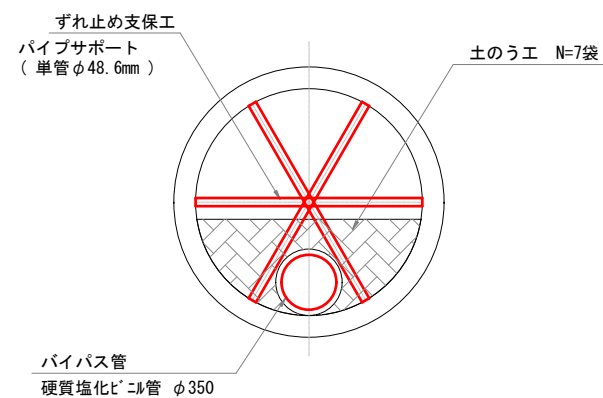
A-A 断面図



B-B 断面図



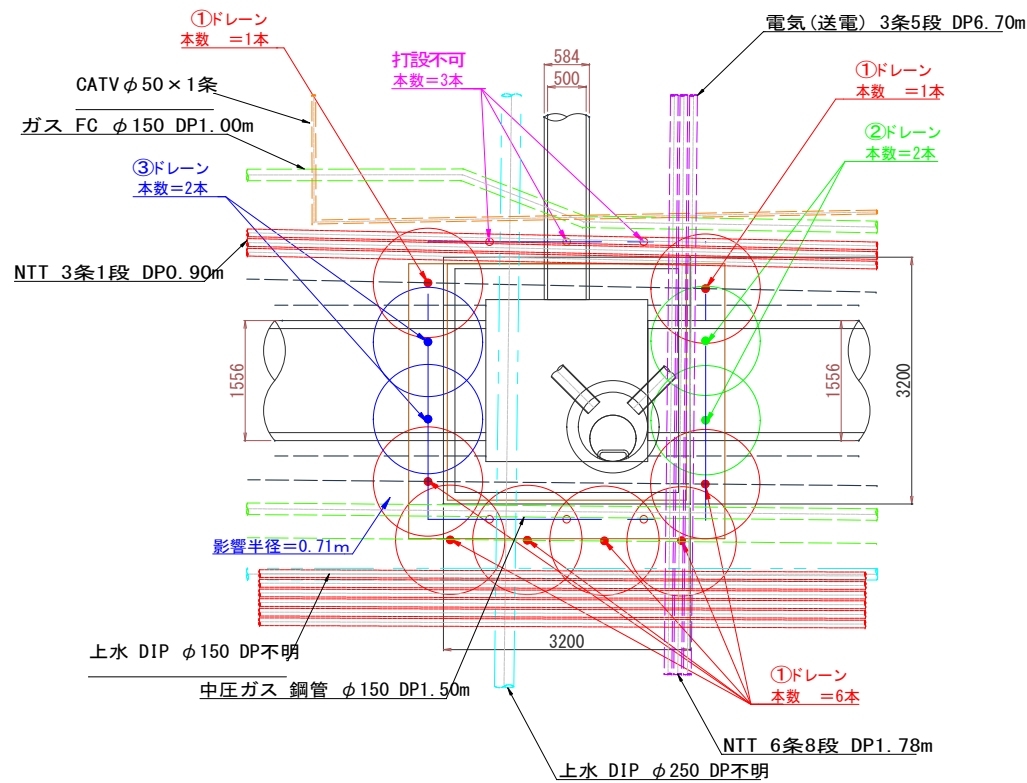
C-C 断面図



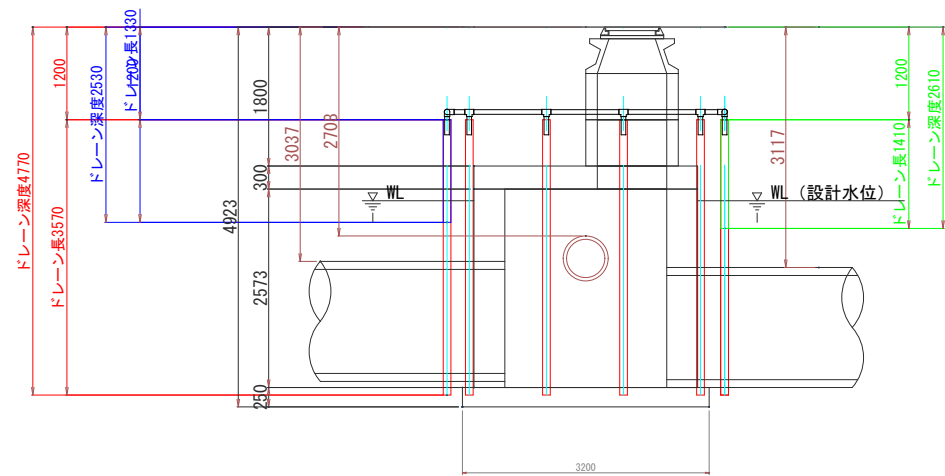
工 事 名	下水道改良工事（地震対策R7-3）		
工 事 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 名	J117134002 特殊マンホール仮排水仮設図		
図 枚 数	24 / 27	縮 尺	S=1 : 30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

J117134002 特殊マンホール浮上対策工図 S=1:50

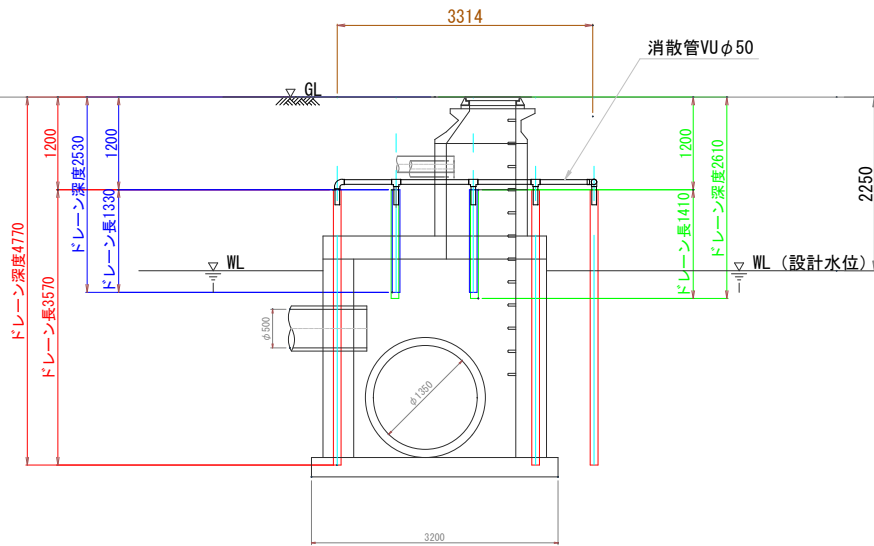
平面図



A-A 断面図



B-B 断面図

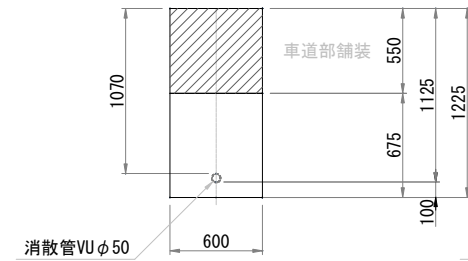


ドレーン土被り 1.20m
ドレーン影響半径 0.71m
本数算定用間隔 1.00m
必要ドレーン本数 15本
設置本数 12本
打設不可 3本
安全率(F_s) 1.08
底板影響半径 0.69m
底板影響範囲 1.872m²

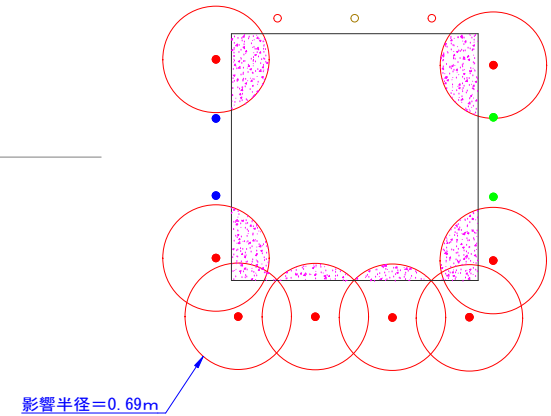
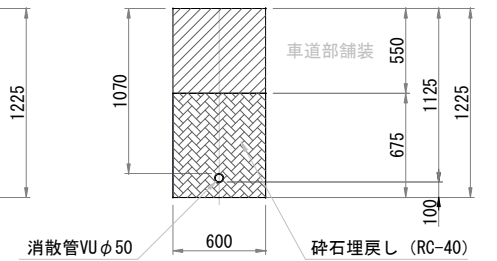
ドレーン深度	本数	ドレーン長さ
○ 打設不可	3本	0.00m
● ④		
● ③ 2.53m	2本	1.33m
● ② 2.61m	2本	1.41m
● ① 4.77m	8本	3.57m

消散管 VUφ50 L=3.33+3.60+3.27+0.51+0.53+0.20×12 = 13.64m
D_{90°} エルボ φ50 N= 4 個
D_{45°} エルボ φ50 N= 1 個
D_{90°} Y φ50 N= 10 個
コンクリート 削孔 φ80mm L=0.20m

消散管 掘削断面図 S=1:25



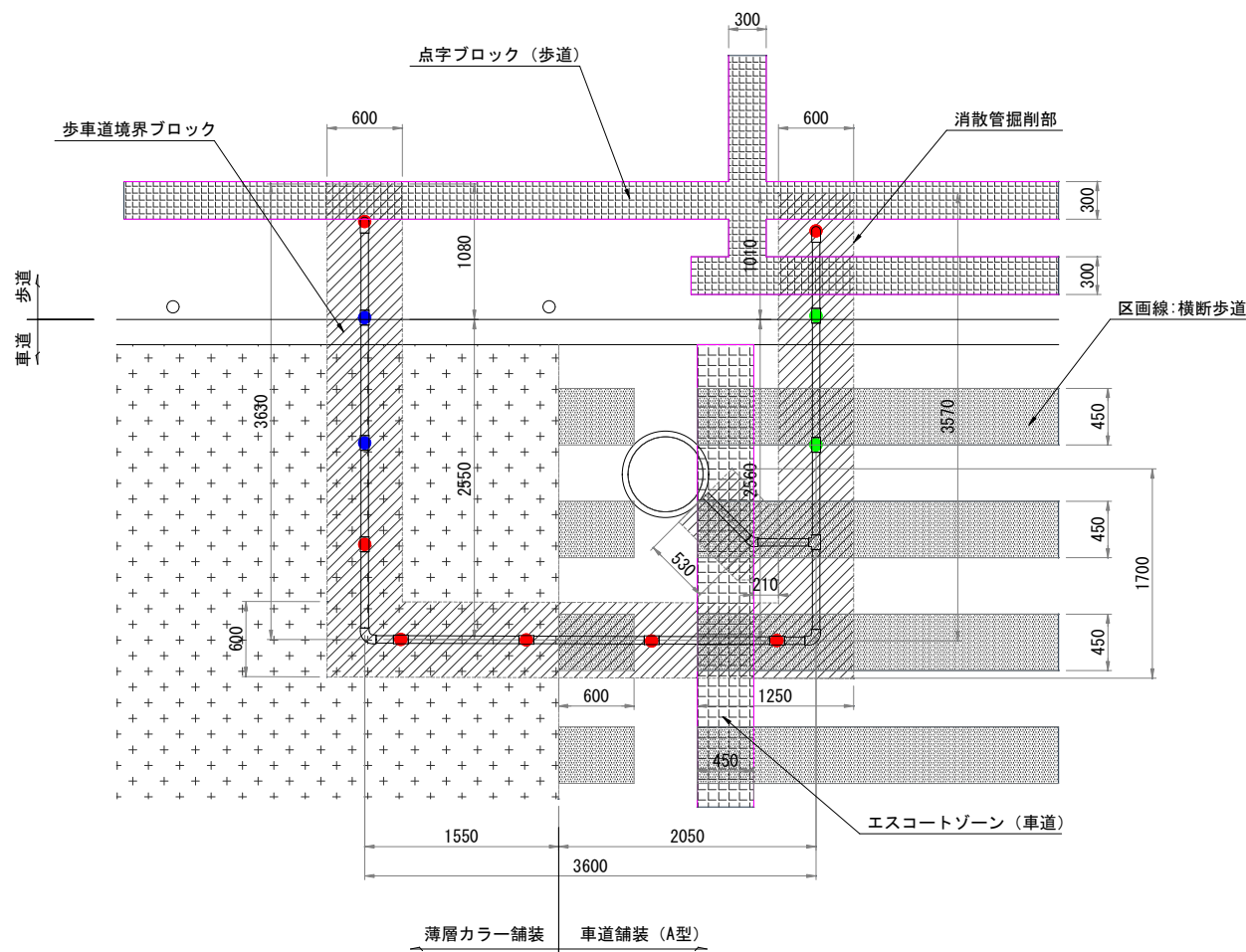
消散管 埋戻し断面図 S=1:25



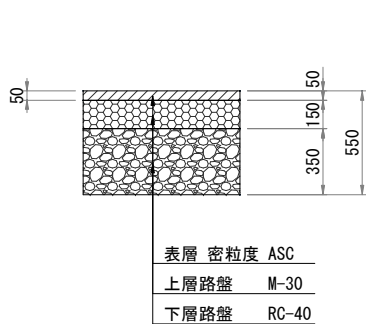
底板影響範囲=1.872m²

工 事 名 称	下水道改良工事 (地震対策R7-3)		
工 事 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 面 名 称	J117134002 特殊マンホール浮上対策工図		
図 面 枚 数	25 / 27	縮 尺	1:50
甲 府 市 上 下 水 道 局			

117134002 特殊マンホール 付帯工図 縮尺 1:30



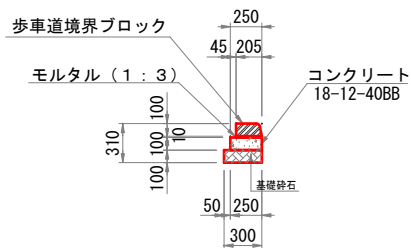
舗装構成 S=1:20
[A型構造]



舗装構成 S=1:20
[タイル]



歩車道境界ブロック工



断面数量表		10m当り		
種 目	仕様	数 量	単位	
コンクリート取壊し処分分	有筋	0.193	m3	
コンクリート取壊し処分分	無筋	0.271	m3	

付 帯 工

項 目	仕 様	算 式	単位	数 量	備 考
区画線工	横断歩道 (白) せづら 45cm	$L = 0.60 + 1.25 \times 2 + 0.60 \times 3$	m	4.90	
点字ブロック撤去工	歩道 幅 30cm	$L = 0.60 \times 0.30 \times 3$	m2	0.54	ブロック再利用
点字ブロック設置工	歩道 幅 30cm		m2	-	舗装で計上
エスコートゾーン設置工	車道 幅 45cm	$L = 1.70 \times 0.45$	m2	0.77	
道路付属構造物工	歩車道境界ブロック撤去	$L = 0.60 \times 2$	m	1.20	
	歩車道境界ブロック設置	$L = 0.60 \times 2$	m	1.20	

舗 装 工

項 目	仕 様	算 式	単位	数 量	備 考
舗装切断工	15cm以下	$L = (3.63 + 3.60 + 3.57 + 0.21 + 0.53) \times 2 - 0.20 \times 2 + 0.60 \times 2$	m	23.88	
タイル撤去工	歩道 IRB t=6cm	$A = (1.080 + 1.010) \times 0.60 = 1.254m^2$ $A' = 1.254 - 0.60 \times 0.30 \times 3$	m2	0.71	ブロック再利用
舗装取壊し工	車道 ASC t=5cm+1cm[カラー]	$A = (2.550 + 1.550) \times 0.60$	m2	2.46	5.67 m2
	車道 ASC t=5cm	$A = (2.050 + 2.560 + 0.210 + 0.530) \times 0.60$	m2	3.21	
舗 装 工	車道部面積	$A = (2.550 + 1.550 + 2.050 + 2.560 + 0.210 + 0.530) \times 0.60$	m2	5.67	
	薄層カラー舗装	$A = (2.550 + 1.550) \times 0.60$	m2	2.46	
	インターロッキング舗装	$A = (1.080 + 1.010) \times 0.60$	m2	1.25	

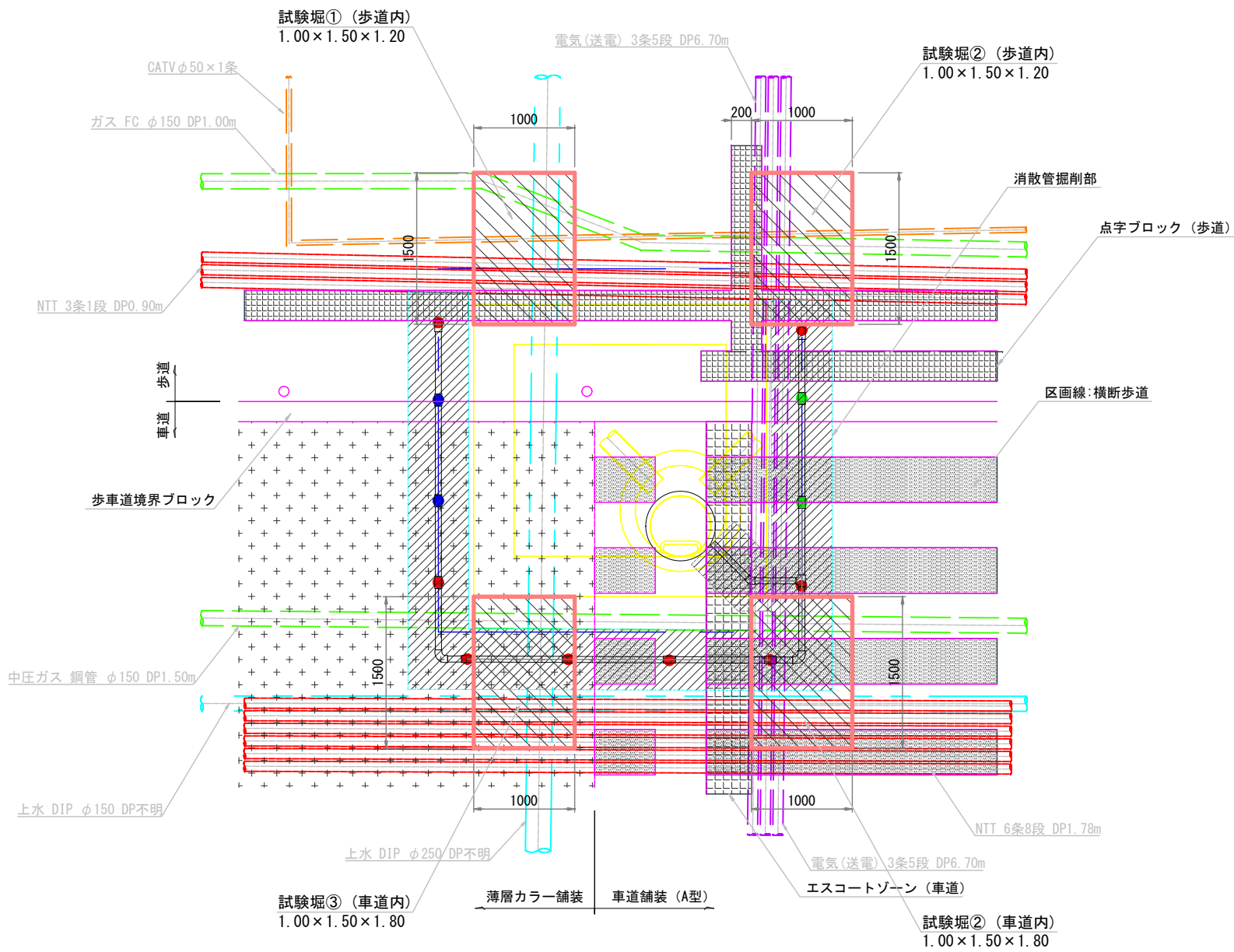
舗 装 工

部 位				
	車道舗装 (車道 A型)	車道舗装 (薄層カラー)	歩道: タイル (ブロック再利用)	
舗装構成	As 5-15-35	樹脂モルタル 8~10mm	IRB 6-3-10	
舗装面積	5.69 m2	2.46 m2	1.25 m2	

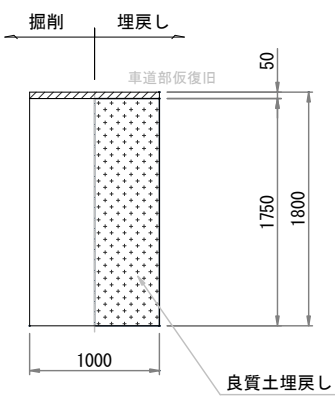
工 事 名	下水道改良工事 (地震対策R7-3)		
工 事 所	甲府市丸の内一丁目地内		
図 面 名	J117134002 特殊マンホール付帯工図		
図 面 枚 数	26 / 27	縮 尺	1:30
甲 府 市 上 下 水 道 局			

117134002 特殊マンホール 試験掘工図 縮尺 1:30

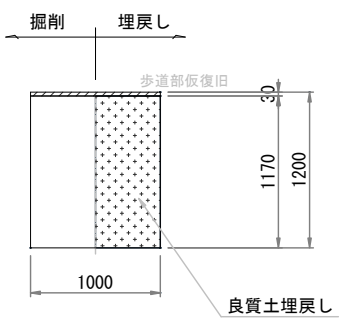
平面図



車道部 試験掘断面図



歩道部 試験掘断面図



舗装工

項目	仕様	算式	単位	数量	備考
舗装切断工	車道部 15cm以下	$L = (1.00 + 1.50) \times 2 \times 2$	m	10.00	
インターロッキングブロック撤去工	歩道 IRB t=6cm	$A = 1.00 \times 1.50 + 1.20 \times 1.50 = 3.300\text{m}^2$ (点字ブロック含む) $A' = 3.300 - (1.00 + 1.50 + 1.00) \times 0.30$	m ²	2.25	ブロック再利用
舗装取壊し工	車道 ASC t=5cm+1cm[カー]	$A = 1.00 \times 1.50$	m ²	1.50	
	車道 ASC t=5cm	$A = 1.00 \times 1.50$	m ²	1.50	3.00 m ²
舗装工(仮復旧)	歩道部 ASC t=3cm	$A = 1.00 \times 1.50 + 1.20 \times 1.50$	m ²	3.30	
	車道部 ASC t=5cm	$A = 1.00 \times 1.50 \times 2$	m ²	3.00	

工事名称	下水道改良工事(地震対策R7-3)		
工事箇所	甲府市丸の内一丁目地内		
図面名称	J117134002 特殊マンホール試験掘工図		
図面枚数	27 / 27	縮尺	1:30
甲府市上下水道局			